

第1回 八代市景観計画 策定委員会



平成30年2月2日

1. 景観の捉え方
2. 景観法と景観計画
3. 景観関連会議の実施報告
4. 景観基礎調査の結果報告
5. 八代市景観計画の策定方針について
6. 八代市景観計画素案について



1. 景観の捉え方

1. 景観の捉え方

(1) 景観とは？

- 景観とは、山、川などの自然や建物、道路など、私たちの目に映るまちの姿だけでなく
- その場において感じられるようなまちの動きや市民生活など、人々の営みから醸し出されるまちの雰囲気、文化的かおりや歴史性など、五感で感じられる印象まで含む幅広いものです。

景

山、川などの自然や
建物、道路など
私たちの**目に映る**
まちの姿

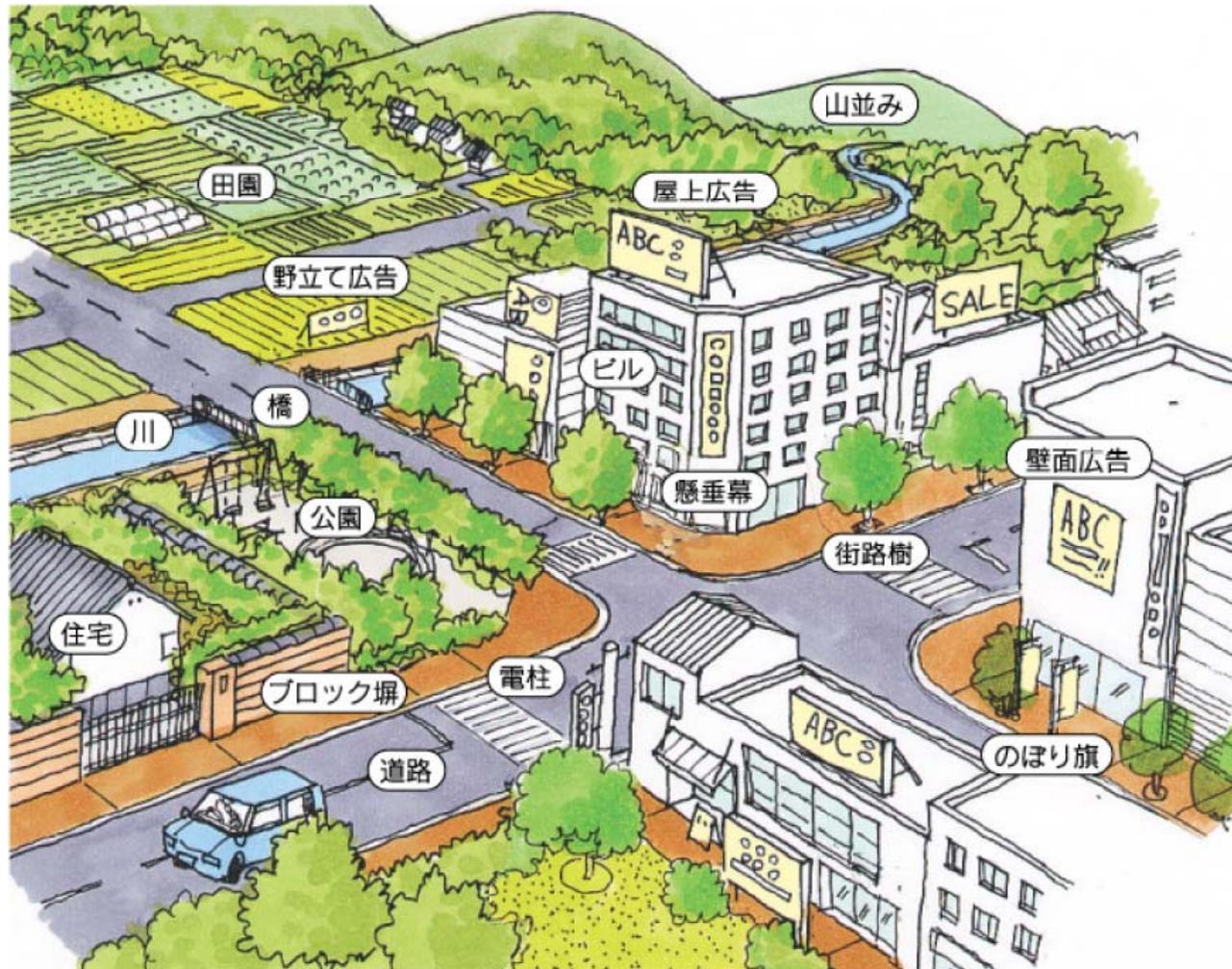
+

観

人々の営みから
醸し出される
まちの雰囲気、
文化的かおりや
歴史性など
五感で感じられるもの

1. 景観の捉え方

(1) 景観とは？



▲ 景観の構成要素

<自然物⇔人工物>

- 自然
- まちなみ・集落
(歴史・文化的景観)

<人工物の要素>

- 建物・建造物
- 付属施設
- 建物まわり
- 広告 . . .

<建造物の要素>

- デザイン
- 色彩
- 高さ・大きさ
- 緑 . . .

1. 景観の捉え方

(1) 景観とは？

- 目に映るものだけでなく、文化的かおりや歴史性まで含みます。



1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

- ① まちなみ全体として一定の統一感・まとまりのあるまち
- ② 周辺の自然等と調和したまち
- ③ 美しい自然そのもの
- ④ 歴史等に醸成された、“地域らしさ”を醸し出す固有の景観
- ⑤ 見たいものが、他のものに邪魔されずに、
程よい大きさで見えていること

美しいまち、良好な景観・・・

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

① まちなみ全体として一定の統一感・まとまりのあるまち

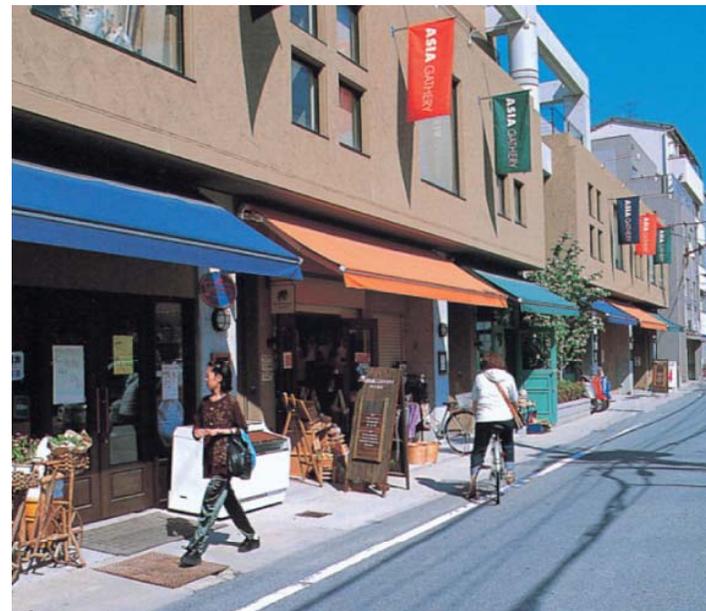


▲ 豊かな緑により野趣溢れるまちなみ（下阿蘇神社周辺、黒川温泉、天瀬温泉）

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

① まちなみ全体として一定の統一感・まとまりのあるまち



▲ 緑やシェードの連続による連続感のあるまちなみ（東京都港区、神戸市）

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

② 周辺の自然等と調和したまち



▲ 岐阜県大野郡白川町



▲ 京都府北桑田郡



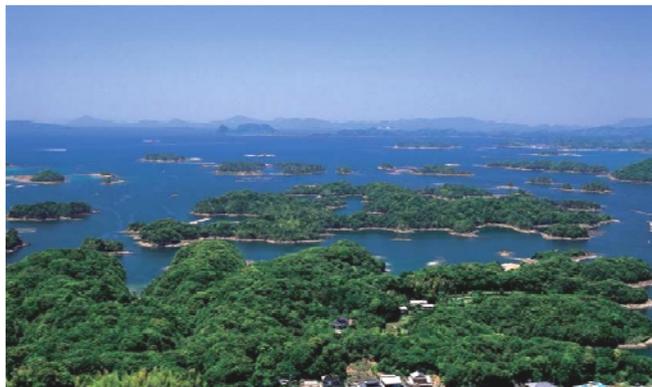
▲ 庭先緑化により周辺と調和して見えるまち



1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

③美しい自然そのもの



▲長崎県佐世保市（九十九島）



▲山梨県西八代郡下部町（富士山）



▲宮崎県串間町



▲秋田県由利郡鳥海町（法体の滝）

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

④ 歴史や文化に醸成された、地域らしさを醸し出す固有の景観



▲石川県金沢市（東山ひがし）



▲岡山県倉敷市（景観地区）

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

⑤見たいものが、他のものに邪魔されずに程よい大きさで見えていること



▲長野県松本市（松本城）

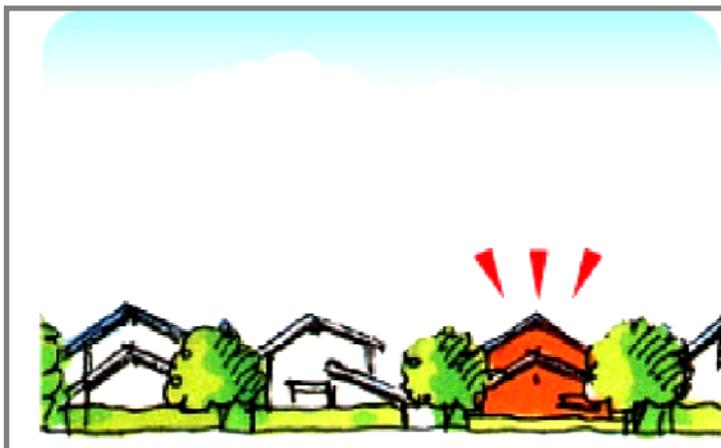


▲兵庫県姫路市（姫路城）

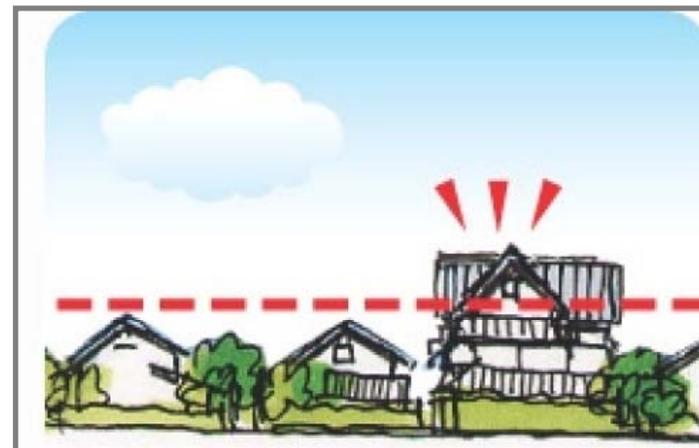
1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

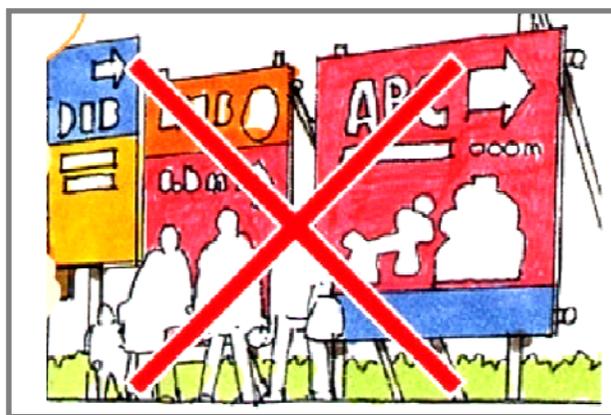
- 景観の調和を阻害するもの



▲ケバケバしい色彩



▲突出した高さ



▲バランス悪く・大きすぎる広告

1. 景観の捉え方

(2) 良好な景観とは？

- 景観の調和を阻害するもの



▲ 派手な色彩の建物



▲ 派手な色彩の看板

1. 景観の捉え方

(3) 良好な景観がもたらすもの

【良好な景観づくりによってもたらされる3つの効果】

一つ目は、良好な景観に囲まれることにより「**毎日を快適に、心豊かに過ごすことができる**」といった効果がある。わかりやすい事例としては、割れた窓などのまちの景観を改善することによって犯罪率が減少した、ニューヨークの「割れ窓理論」があげられる。

次に、この心地よさが、「**地域に対する愛着と誇りをはぐくむ**」といった効果がある。これが原動力となり、**地域の自主的な景観づくり・まちづくり**をさらに推し進めるといった、よいスパイラルアップの循環をつくりだすことが期待できる。

さらに、良好な景観は、地域の方のみならず、訪れる人にも潤いや安らぎを与え、結果的に、**多くの人**がひきつけられ、**集い、活性化や観光振興**など、八代が元気になっていくことが期待できる。

● 良好な景観がもたらすもの

- ・ 毎日を快適に心豊かに過ごすことができる
- ・ 地域に対する“誇り”と“愛着”を育む
- ・ そこに住む人、訪れる人に潤いや安らぎを与える

↓

多くの人**が**ひきつけられ、集い、
八代市が**元**気になっていきます！

⇒つまり、“**良好な景観**”は**市民共有の財産**である！



2. 景観法と景観計画

2. 景観法と景観計画

(1) 景観法の必要性

これまでの取り組み

500弱の地方公共団体が自主条例として景観条例を制定するなど、地方公共団体において積極的に景観の整備・保全の取り組みを行っている。



これまでの取り組みの課題

- 景観を整備・保全するための**国民共通の基本理念が未統一**
- 自主条例に基づく行為の**届出勧告等のソフトな手法の限界**



必要性

景観の意義やその整備・保全の必要性を明確に位置付けるとともに、地方公共団体に対し、いざという場合の**一定の強制力を付与する**ことが必要。

2. 景観法と景観計画

(2) 景観法の特徴

- **景観行政団体**（景観法に基づく景観行政を担う地方公共団体）という概念の導入
- 基本理念など基本法の性格が明確化されるとともに、景観行政団体が景観行政を進める基本的計画として、**景観計画を策定**することができること
- 地域の個性が反映できるよう、**条例で規制内容を柔軟に定める**ことができるようにされたこと
- 景観計画区域における一定の行為についての変更命令等、いざというときに**強制力を発揮できる措置**が盛り込まれたこと
- 景観地区、景観協定、景観重要建造物、景観重要樹木、景観協議会、景観整備機構等の景観の保全・形成のための**各種制度**が設けられたこと

2. 景観法と景観計画

(3) 景観行政団体

「景観行政団体」とは、景観行政を担う主体

政令市、中核市、都道府県は自動的に景観行政団体となり、その他の市町村は、都道府県知事との協議により景観行政団体になることが可能

【運用指針】

- ・ 良好な景観の形成は、居住環境の向上等住民の生活に密接に関係
- ・ 地域の特色に応じたきめ細かな規制誘導方策が有効



基礎的自治体である市町村が
中心的な役割を担うことが望ましい。

2. 景観法と景観計画

(4) 景観計画 = 景観行政団体が、景観行政を進める場として定める基本的な計画

① 景観計画に定める事項

必須事項

- 景観計画区域
- 景観計画区域における良好な景観の形成に関する方針
- 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項
- 景観重要建造物又は景観重要樹木の指定の方針
(当該景観計画区域内にこれらの指定の対象となる建造物又は樹木がある場合に限る。)

選択事項

- 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項
- 景観重要公共施設の整備に関する事項
- 景観重要公共施設の占用等の基準
- 景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的な事項
- 自然公園法の許可の基準

2. 景観法と景観計画

(4) 景観計画

景観形成の方針について (法第8条)



田園の風景



河川の風景



港の風景



歴史的なまちなみの風景



都市の風景

対象となる地区において
形成すべき景観の方針を設定

2. 景観法と景観計画

(4) 景観計画

②届出対象行為と景観形成基準

必須届出対象行為

- ①建築物の建築等
- ②工作物の建設等
- ③開発行為

選択可能な届出対象行為

- ①土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更
- ②木竹の植栽又は伐採
- ③さんごの採取
- ④屋外における土石、廃棄物、再生資源その物件の堆積
- ⑤水面の埋立て又は干拓
- ⑥夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物その他の工作物又は物件（屋外にあるものに限る。）の外観について行う照明
- ⑦火入れ

それぞれの届出対象行為ごとに行為の制限（景観形成基準）を定める

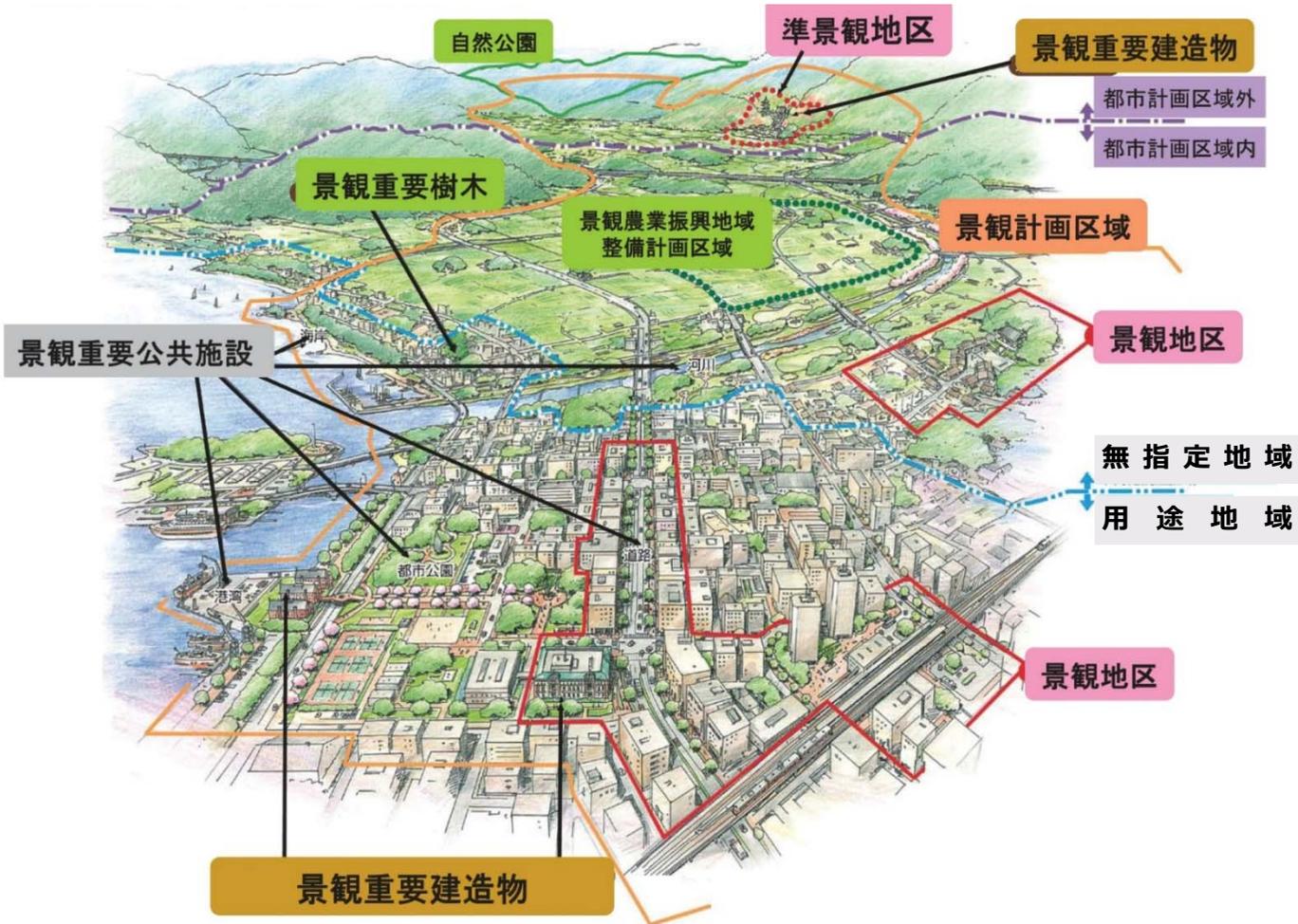
次に掲げる制限のうち必要なものを選択

- ・ 建築物又は工作物の形態又は色彩その他の意匠の制限
- ・ 建築物又は工作物の高さの最高限度又は最低限度
- ・ 壁面の位置の制限又は建築物の敷地面積の最低限度
- ・ その他法第16条第1項の届出を要する行為ごとの良好な景観の形成のための制限

2. 景観法と景観計画

(5) 景観法の主な制度

① 景観法の対象地域のイメージ



2. 景観法と景観計画

(5) 景観法の主な制度

② 景観法の主な制度内容（行為規制と支援の仕組み）

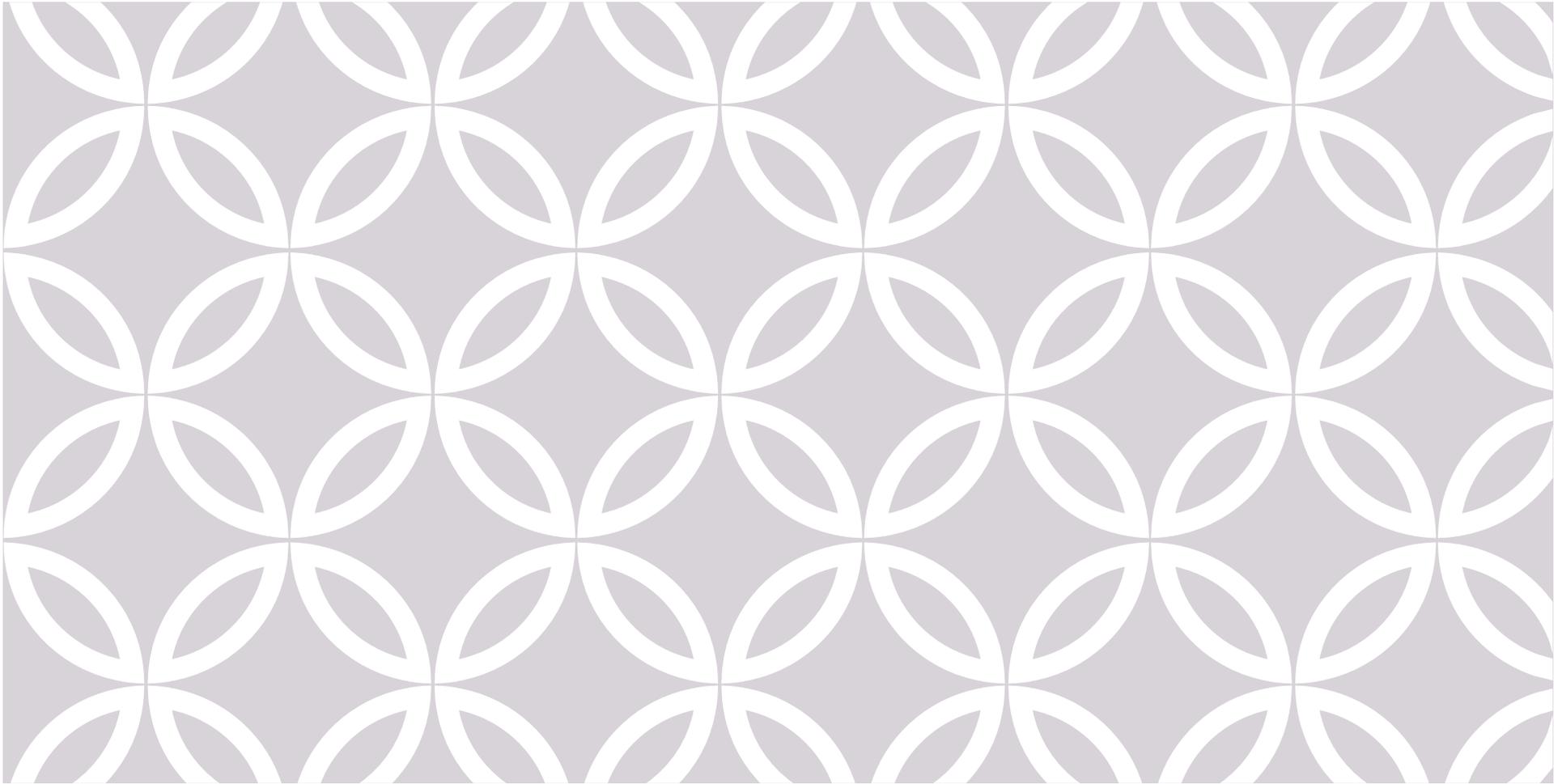


2. 景観法と景観計画

(6) 県内市町村の景観行政団体移行状況

熊本県景観計画 地域・地区指定概要図





3. 景観関連会議の実施報告

3. 景観関連会議の実施報告

(1) やつしろ景観まちづくりセミナー

- 開催日：平成29年7月30日（日）
- 目的：八代市の景観に興味を持ってもらう。
- 参加者：計70名
- 形式：講演+ワークショップ
- 八代市の魅力ある景観資源を書き出して共有



▲セミナーの様子



しばた ゆう
講師 柴田 祐 先生

- 熊本県立大学 環境共生学部 居住環境学科 教授
- 専門分野は 地域計画、景観計画、農村計画
- 八代市においては、八代市地域交通会議委員を務め、宇城市景観審議委員、菊池市景観計画検討委員、天草市長候補議員など、近隣自治体においても幅広い実績を持つ。



2017年
7月30日（日）

10:00~12:00 受付9:30

場所：やつしろハーモニーホール3F
大会議室B

内容：①柴田祐先生（熊本県立大学教授）による講演
②参加者全員で八代の景観について自由に話し合うワークショップ
対象：市民もしくは市内に通勤・通学する18歳以上の人
参加申込：電話もしくは電子メールで、①氏名 ②電話番号をお知らせ下さい
申込締切：2017年7月21日（金） 定員：60名
連絡先：八代市役所 建設部 建設政策課 政策調整係
電話：(0965)33-4116（直通） メール：kensetsu@city.yatsushiro.lg.jp



3. 景観関連会議の実施報告

(1) やつしろ景観まちづくりセミナー

- 八代のいい眺めについて、意見を聴取

【海・水辺】

- ・ 水島の夕日
- ・ 雄大な球磨川
- ・ 氷川
- ・ せんだん轟の滝
- ・ 八の字堰

【山・みどり】

- ・ 竜峰山からの眺望
- ・ 干拓地
- ・ イ草畑
- ・ 棚田
- ・ 五家荘の紅葉・新緑・深緑

【歴史】

- ・ 八代城跡
- ・ 松浜軒
- ・ 五家荘
- ・ 東陽の石橋群

【まち】

- ・ アーケード
- ・ 日本製紙の煙突
- ・ 日奈久温泉
- ・ 市役所や総合病院からの眺望

【その他（季節モノなど）】

- ・ 妙見祭
- ・ やつしろ全国花火大会

3. 景観関連会議の実施報告

(2) 第1回八代市景観まちづくり会議（詳細はニュースレター参照）

- 開催日：平成29年9月5日（火）
- テーマ：暮らしの中の“お宝景観”をあぶりだそう！
～重点テーマ、ポイントの絞り込みとまち歩き候補地の検討～
- 参加者：計51名
- 形式：ワークショップ
（自然・みどり班、生活・まち班、歴史・文化班の3班にて実施）



3. 景観関連会議の実施報告

(3) 第2回八代市景観まちづくり会議（詳細はニュースレター参照）

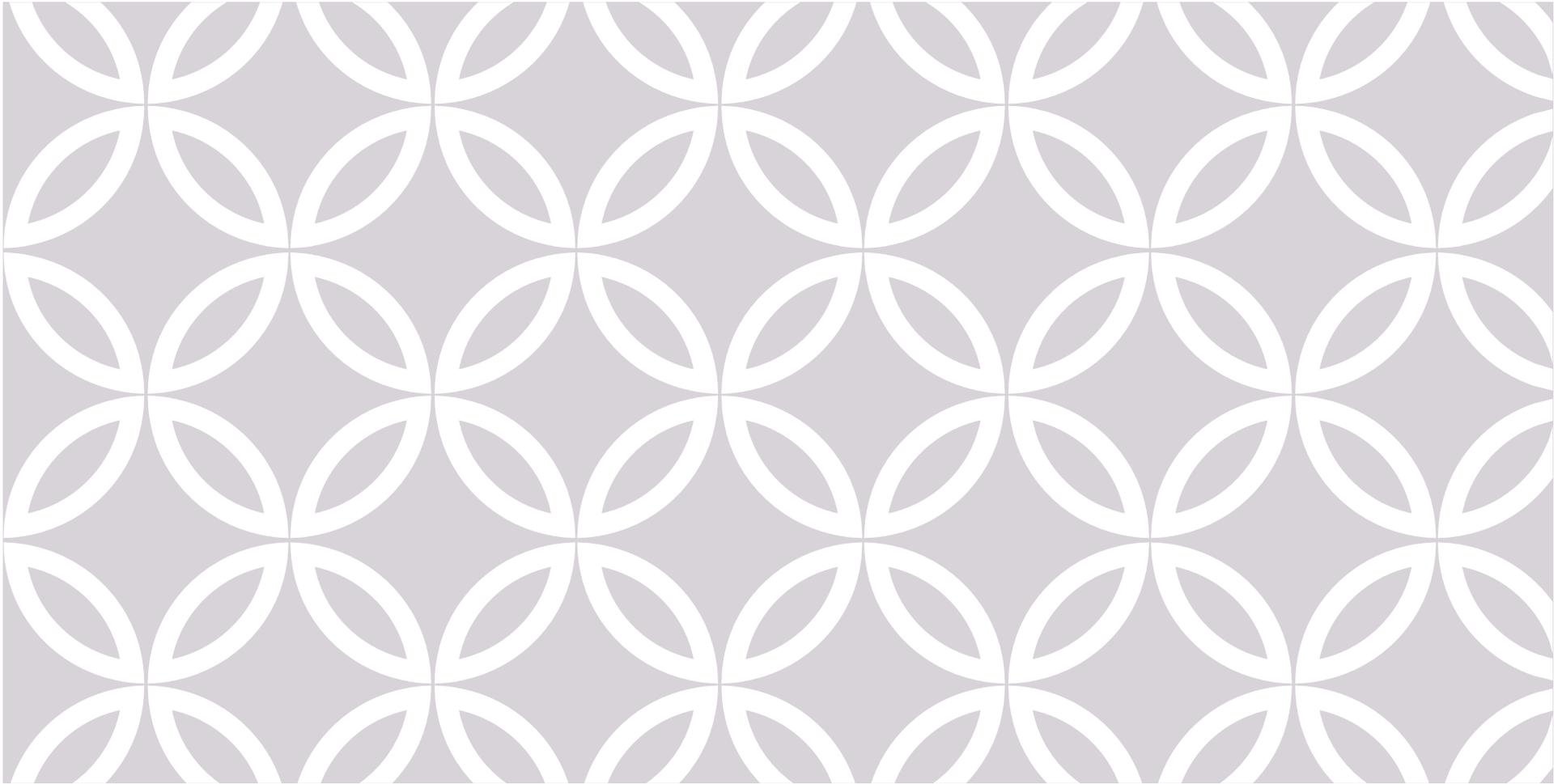
- 開催日：平成29年10月14日（土）
- テーマ：まちを歩いて確かめよう！
～お宝景観の現地確認、魅力・問題点の整理～
- 参加者：計40名
- 形式：まちあるき+ワークショップ
（自然・みどり班、生活・まち班、歴史・文化班の3班にて実施）



3. 景観関連会議の実施報告

(3) 第2回八代市景観まちづくり会議





4. 景観基礎調査の結果報告

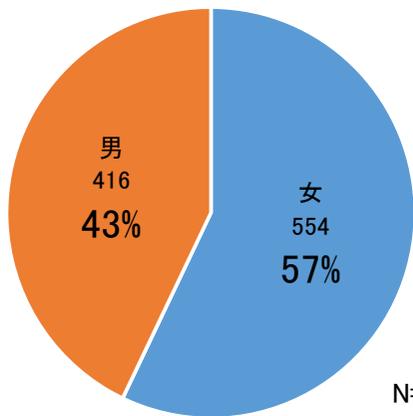
4. 景観基礎調査の結果報告

(1) 市民アンケート調査

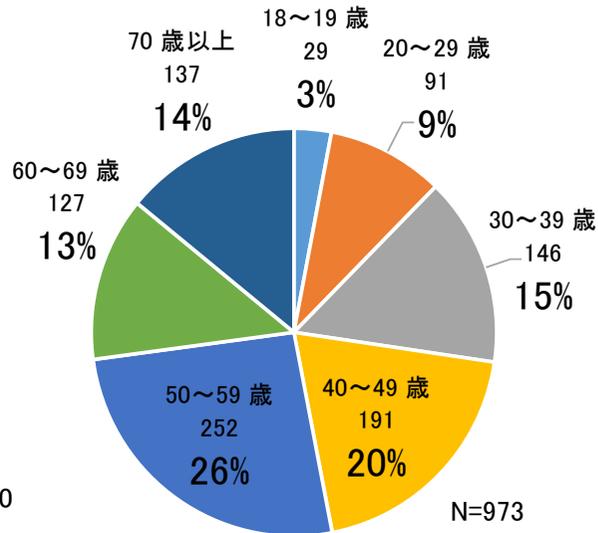
●八代市の景観まちづくりに関する市民アンケート調査結果

- 実施期間：平成29年3月1日（水）～31日（金）
- 有効回答数：977人
- 回収率：32.6%（977人/3,000人）

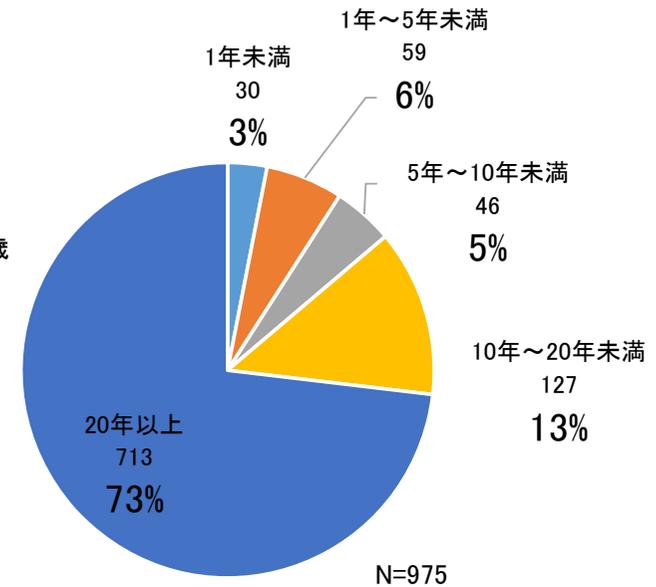
性別



年齢



居住年数



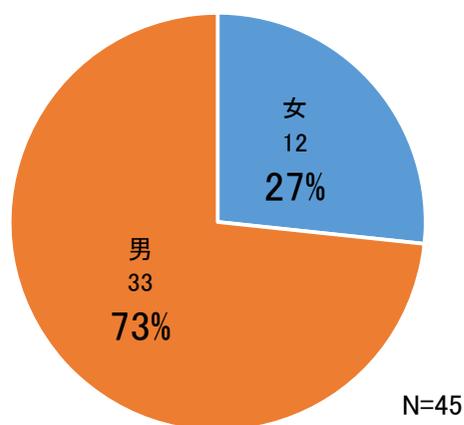
4. 景観基礎調査の結果報告

(2) 学生アンケート調査

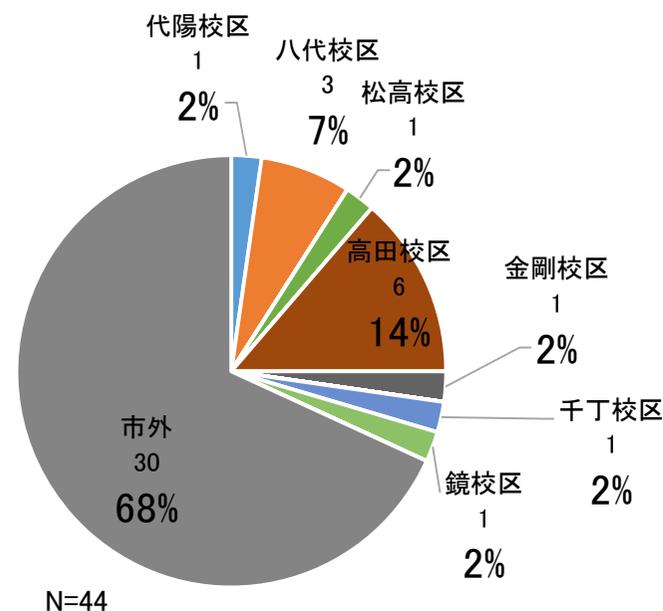
● 八代市の景観まちづくりに関する学生アンケート調査結果

- 実施期間：平成29年4月27日（木）～5月19日（金）
- 有効回答数：45人
- 回収率：100%（45人/45人）

性別



住所

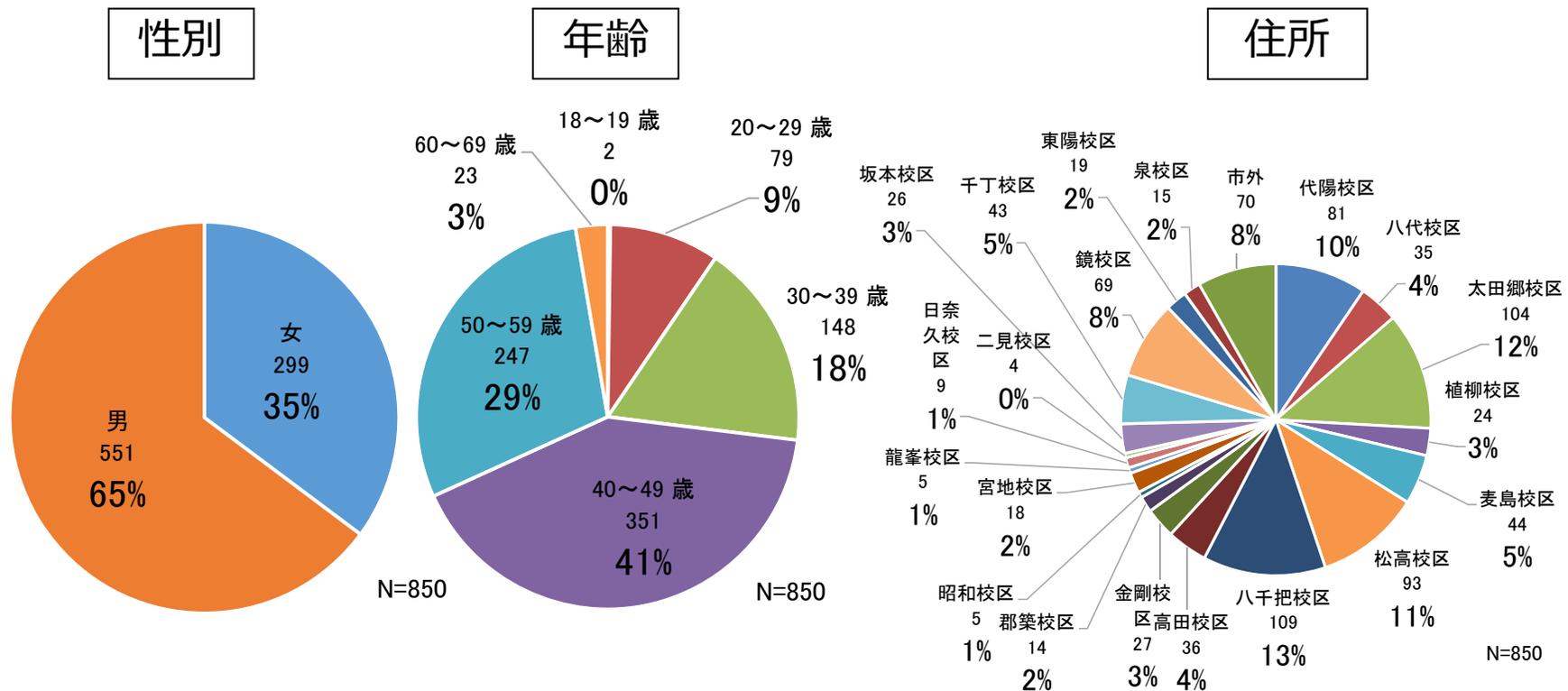


4. 景観基礎調査の結果報告

(3) 職員アンケート調査

●八代市の景観まちづくりに関する職員アンケート調査結果

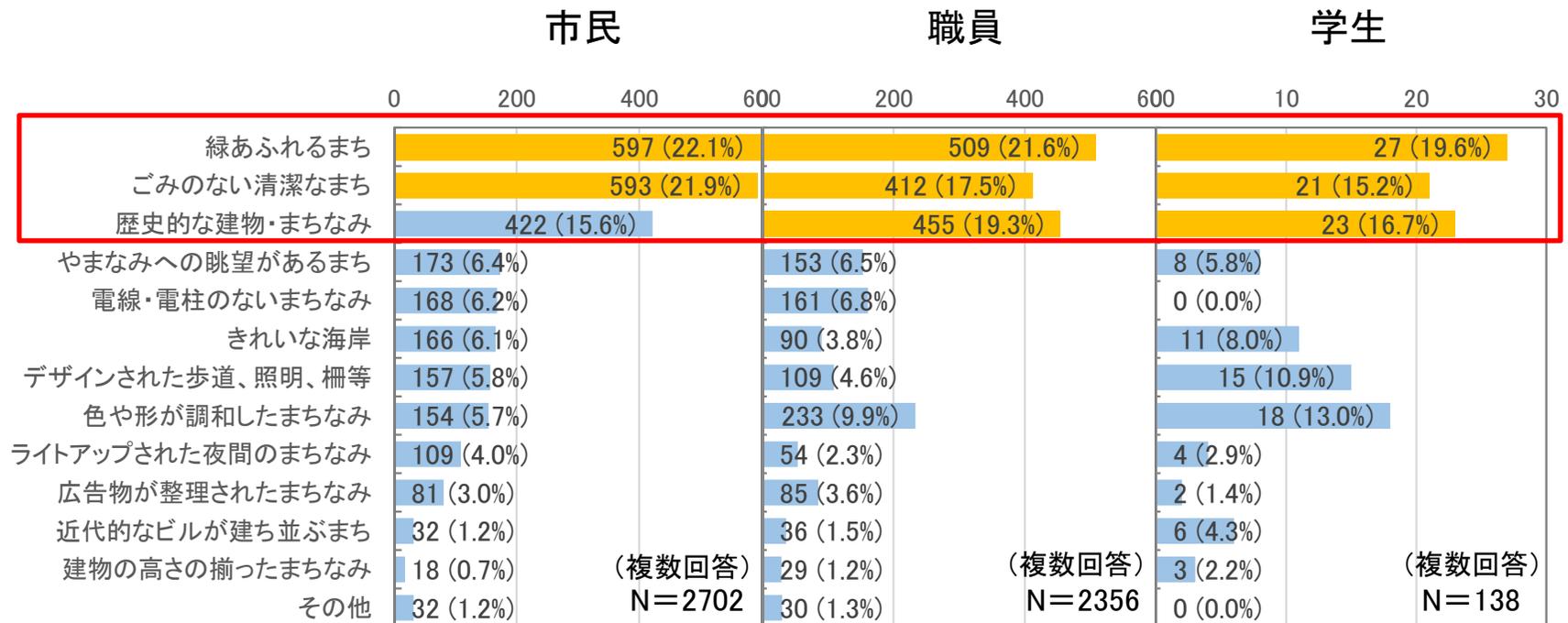
- 実施期間：平成29年4月18日（火）～5月12日（金）
- 有効回答数：850人
- 回収率：89.5%（850人/950人）



4. 景観基礎調査の結果報告

- 八代市の良い景観は、「緑あふれるまち」、「ごみのない清潔なまち」、「歴史的な建物・まちなみ」が多い。

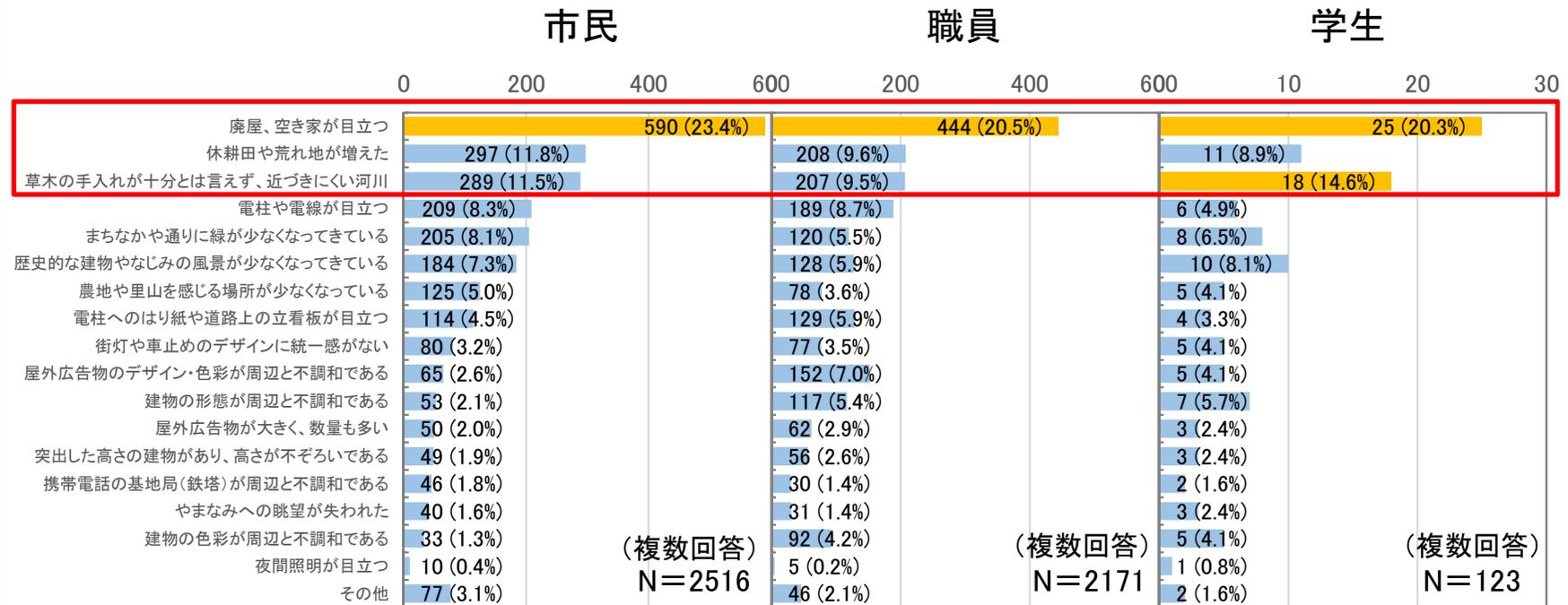
八代市の「良い景観」とは



4. 景観基礎調査の結果報告

- 八代市の悪い景観は「廃屋、空き家が目立つ」が群を抜いて多い。
- 「休耕田や荒れ地が増えた」、「草木の手入れが十分とは言えず、近づきにくい河川」も多い。

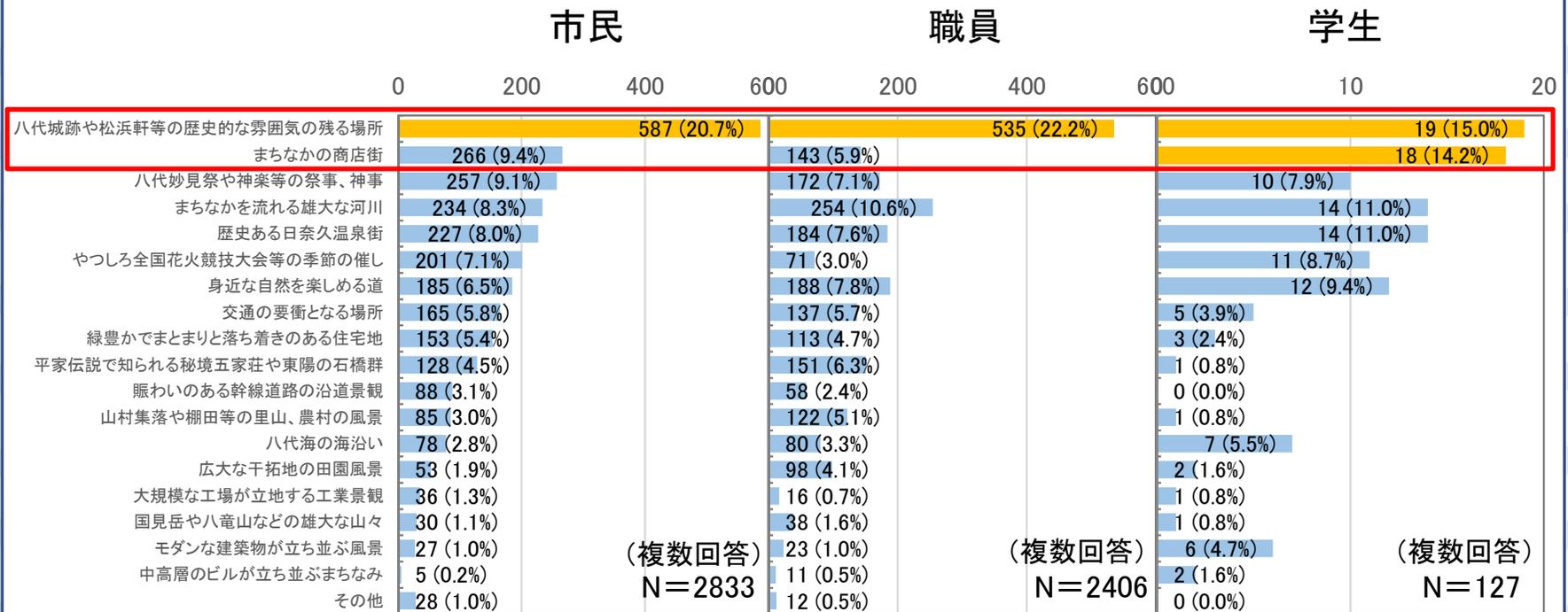
八代市の「悪い景観」とは



4. 景観基礎調査の結果報告

- 良好な景観まちづくりに重要と思う場所は、「八代城跡や浜松軒等の歴史的な雰囲気が残る場所」、「まちなかの商店街」が多い。

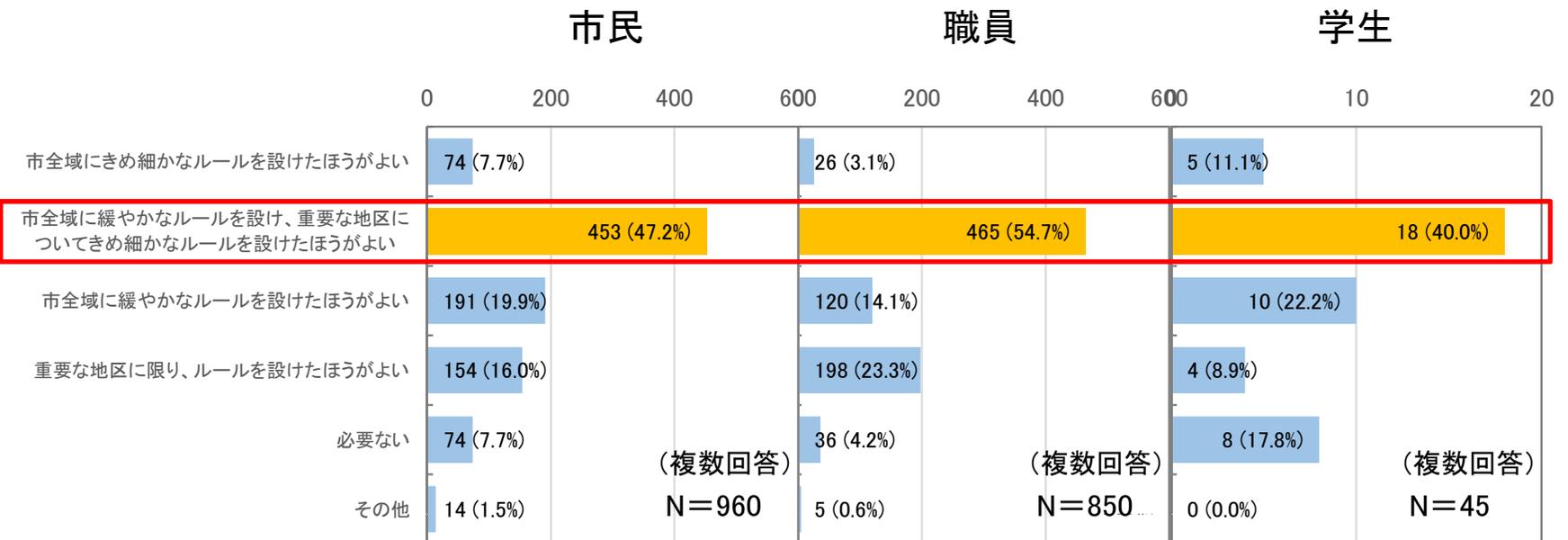
八代の良好な景観まちづくりに重要と思う場所



4. 景観基礎調査の結果報告

- 良好な景観まちづくりに必要だと思うルールは、「市全域に緩やかなルールを設け、重要な地区についてきめ細やかなルールを設けたほうがよい」が多い。

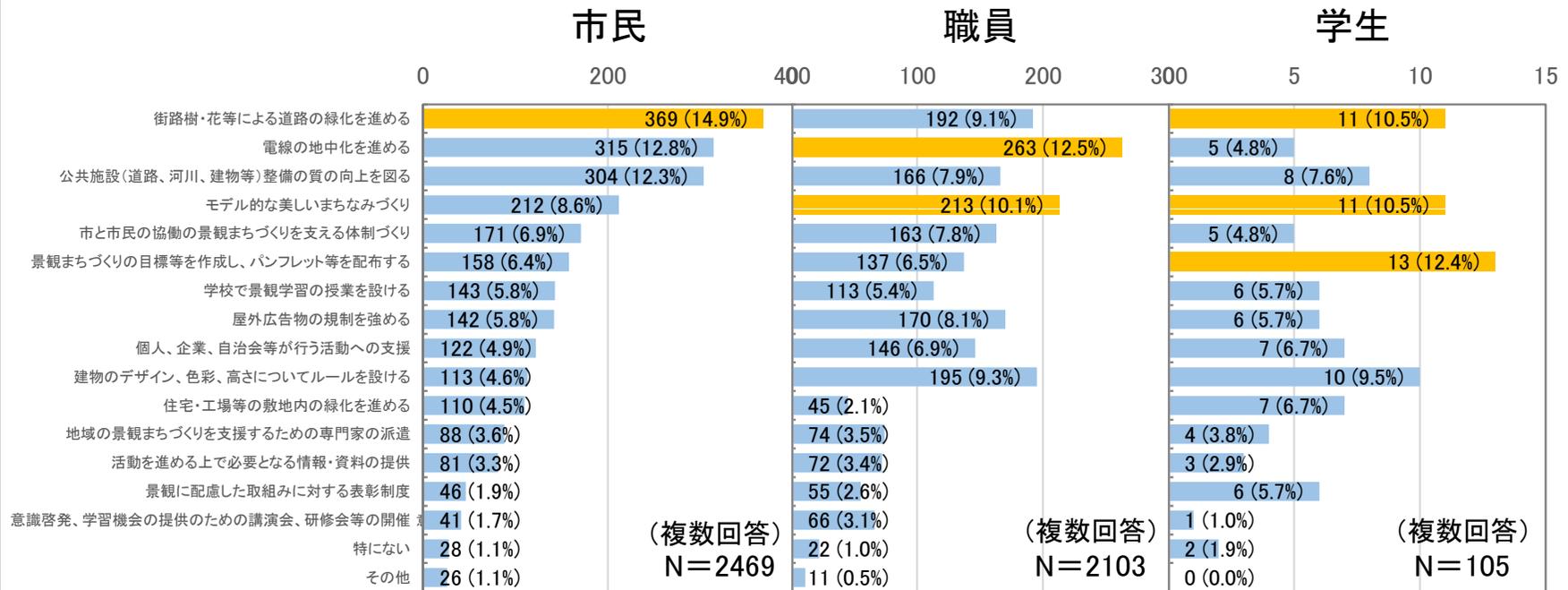
景観まちづくりに必要なルール



4. 景観基礎調査の結果報告

- 良好な景観まちづくりに向けて必要なことは、「道路の緑化」、「電線の地中化」、「モデル的な美しいまちなみづくり」、「パンフレット等の配布」の意見が多い。

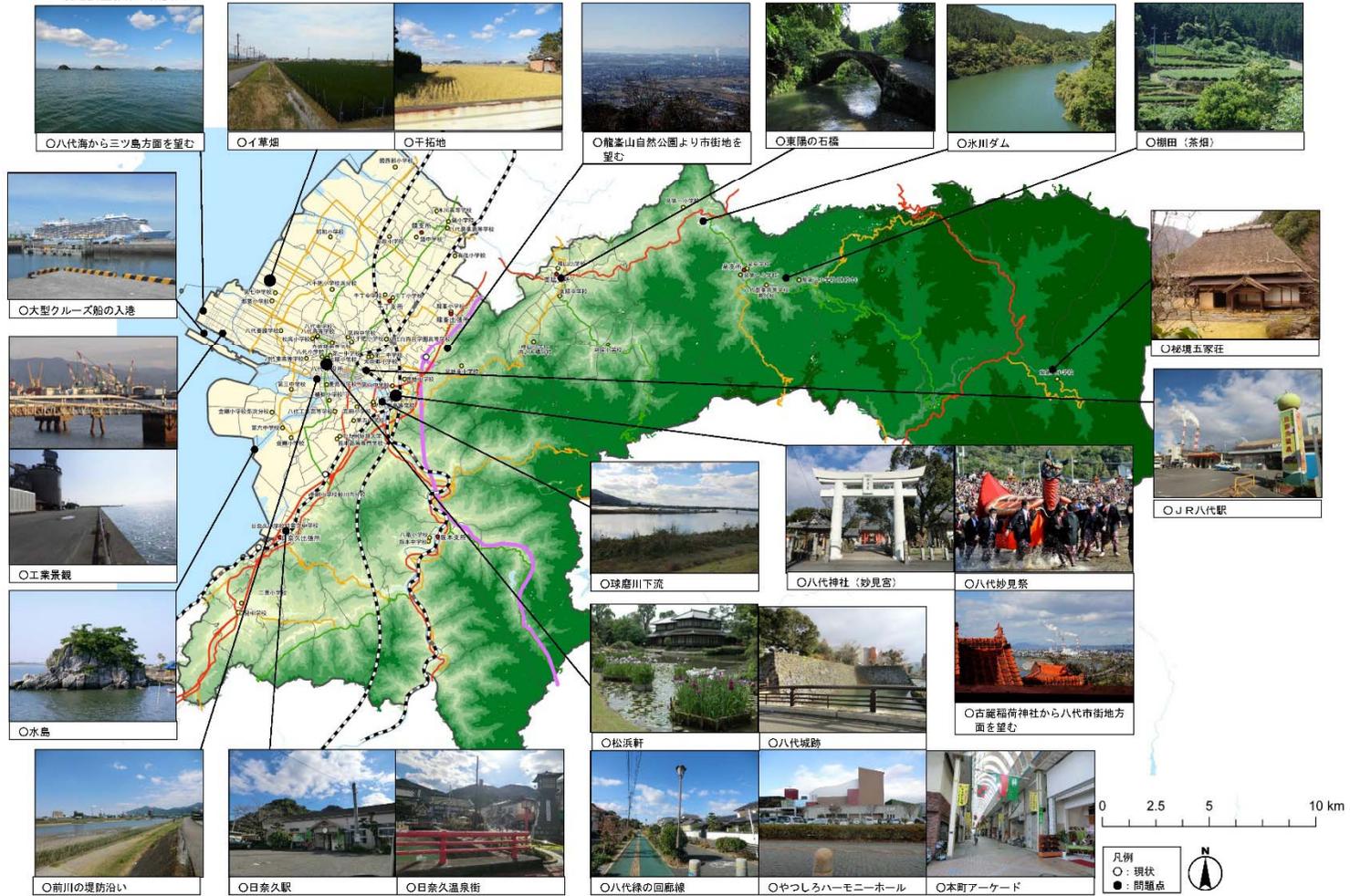
良好な景観を守り育てるために今後必要なこと



4. 景観基礎調査の結果報告

(4) 景観資源現況調査

■現地調査結果の概要図



▲景観資源図

4. 景観基礎調査の結果報告

(5) 色彩調査

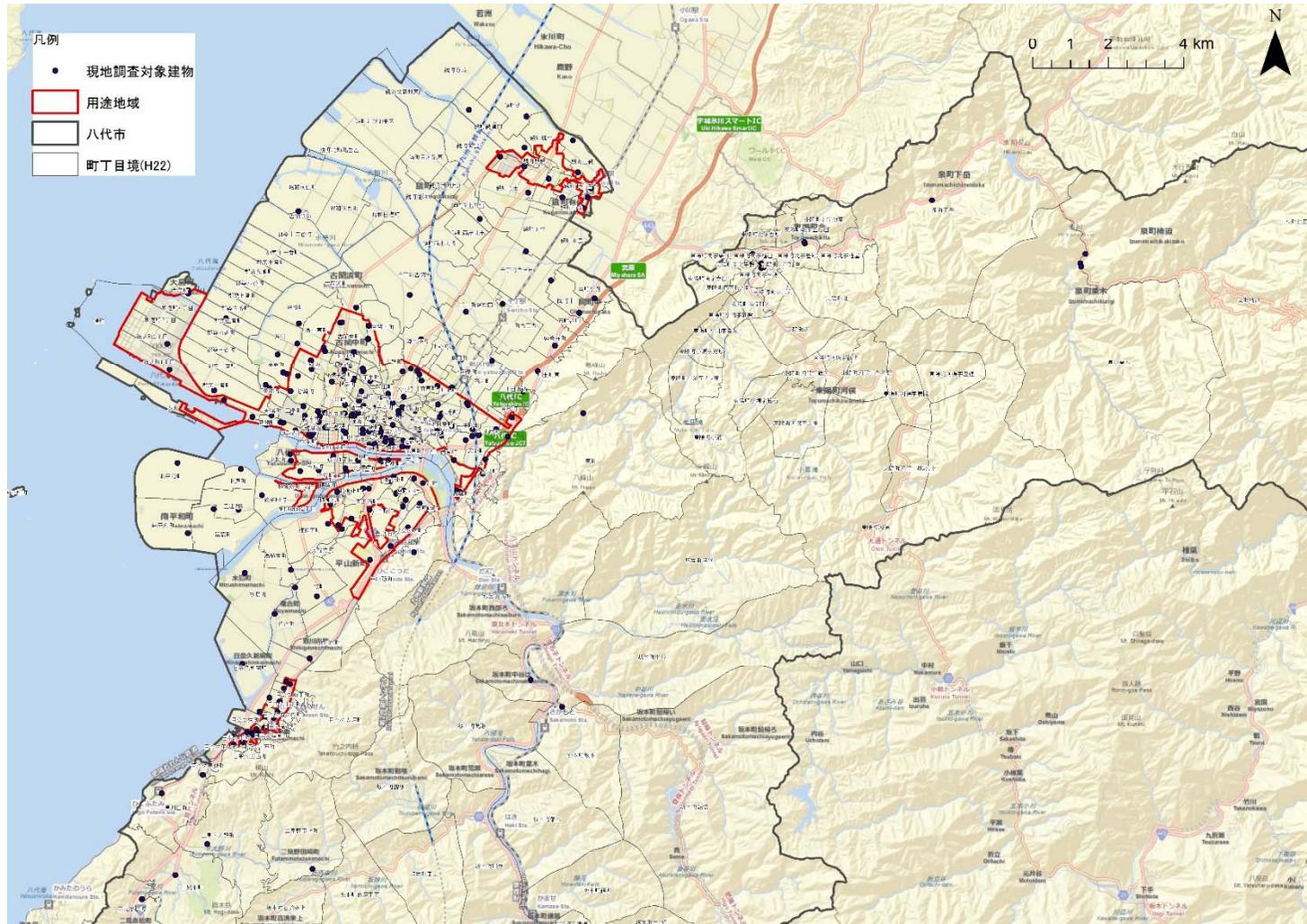
- 目的：全市の景観形成を推進するため、建築物等の色彩について、市内の傾向を把握する
- 実施期間：平成29年5月22日～23日（2日間）
- 調査件数：281件

分類	件数	出典等	活用方法
①建築物等	258	八代市「建築確認申請受付簿」データから無作為抽出および調査段階において、その地域での一般的と思われる建築物を抽出。	建築物の一般的傾向の把握
②景観阻害物件	19	調査段階において、明らかに周辺景観との関係から景観阻害を招いている物件をできる限り抽出。	景観阻害物件の傾向把握
③景観要素（歴史的建築物等）	2	八代市「建築確認申請受付簿」データから無作為抽出した中から歴史的町並みや歴史的雰囲気の漂う物件を抽出。	八代市の主な景観資源の傾向把握
④環境色彩	2	現地調査の際に、土石や緑等の自然物の色彩を、主な地域ごとに抽出。	環境色彩の傾向把握
合計	281		

▲調査概要

4. 景観基礎調査の結果報告

(5) 色彩調査



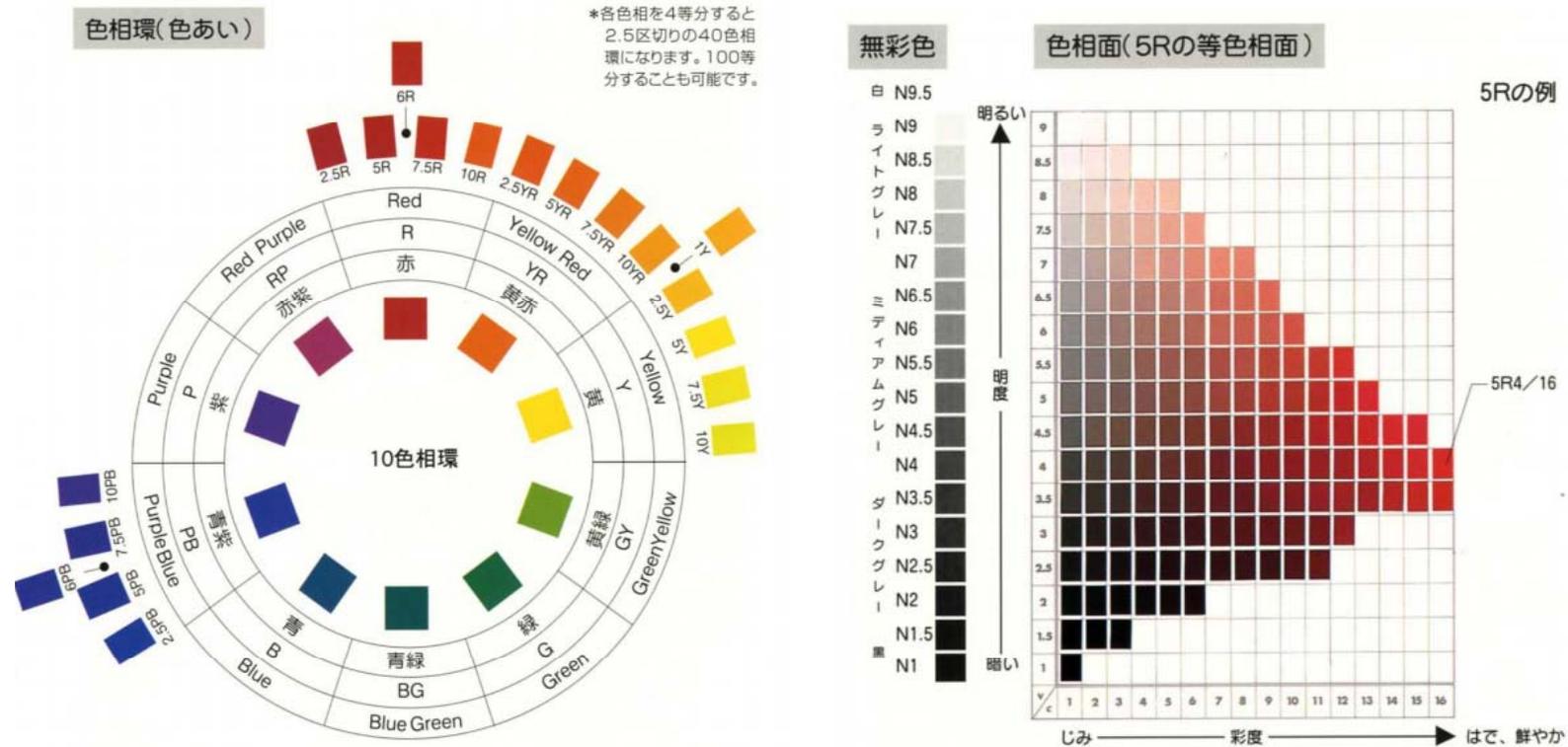
▲ 調査対象範囲と対象物件

4. 景観基礎調査の結果報告

(5) 色彩調査

● 色彩調査にて検討する指標

- ・ 色相：色合い
- ・ 明度：明るさの度合い（明度0は黒）
- ・ 彩度：鮮やかさの度合い（彩度0は無彩色）



4. 景観基礎調査の結果報告

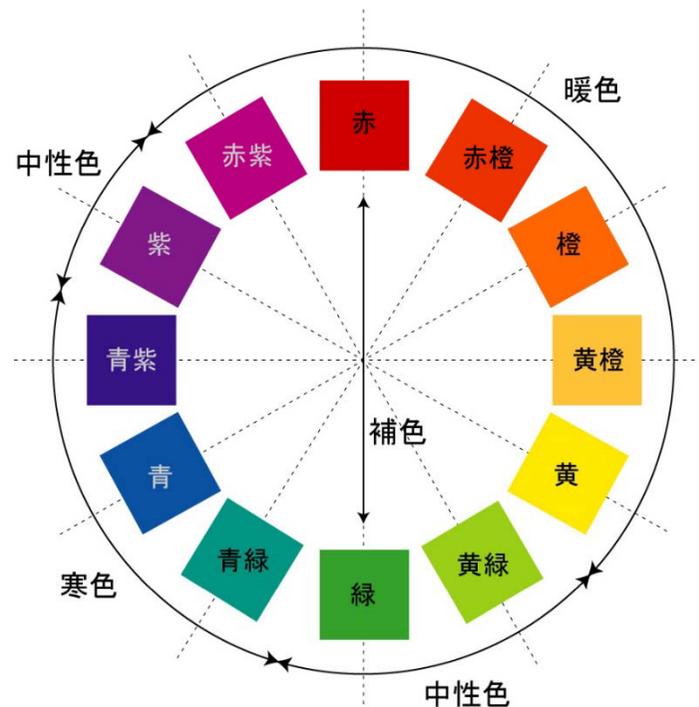
(5) 色彩調査

● 暖色系

- ・ 太陽や火を連想して暖かさを感じる暖かい色、熱い色で、興奮色とも呼ばれる。
- ・ 大きく感じる膨張色。

● 寒色系

- ・ 水や氷のイメージで、ひんやりとした感じ。
- ・ 寒い色、冷たい色を寒色といい、沈静色とも呼ばれる。小さく感じる収縮色。

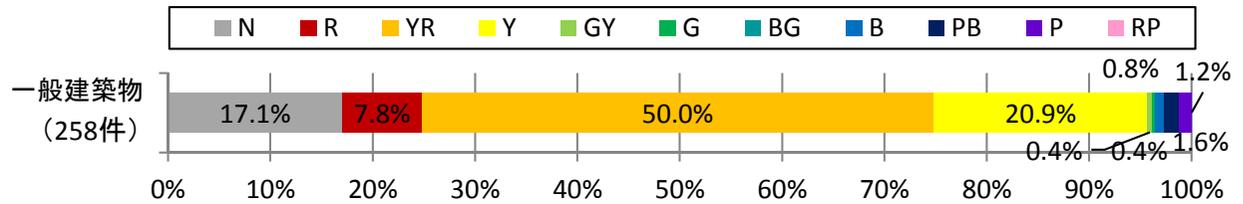


4. 景観基礎調査の結果報告

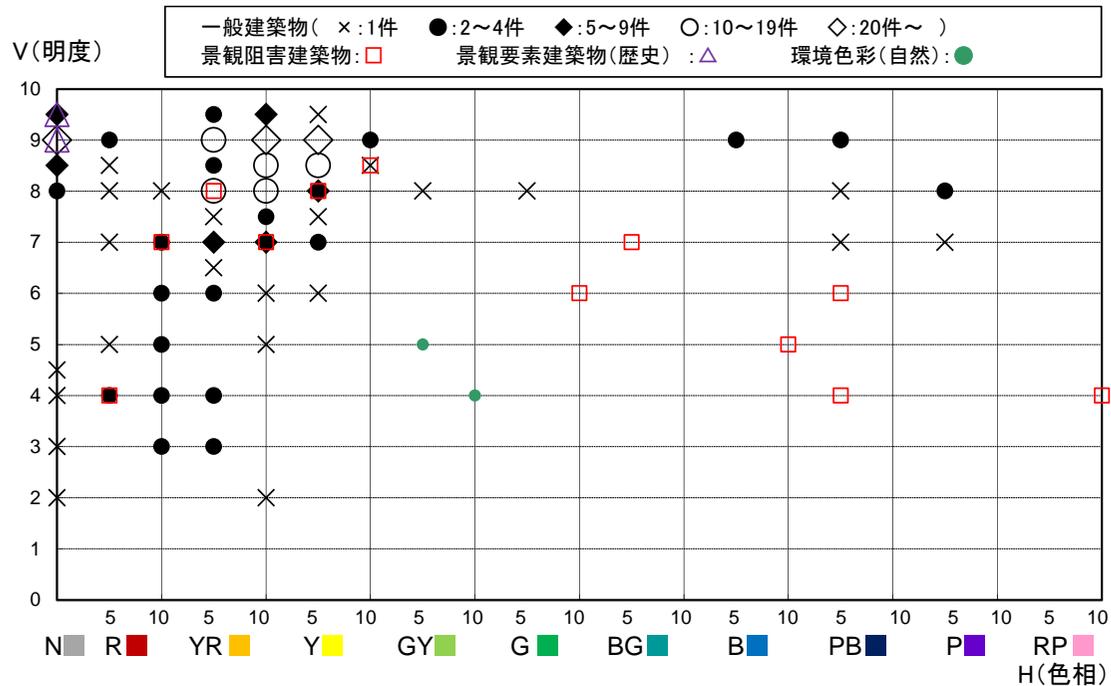
(5) 色彩調査

● 全市域（明度）

- ・ 八代市の建築物の色相は暖色系が全体の約8割。
- ・ 明るめの色調の建築物が多い。



▲ 色相分布



▲ 明度分布

4. 景観基礎調査の結果報告

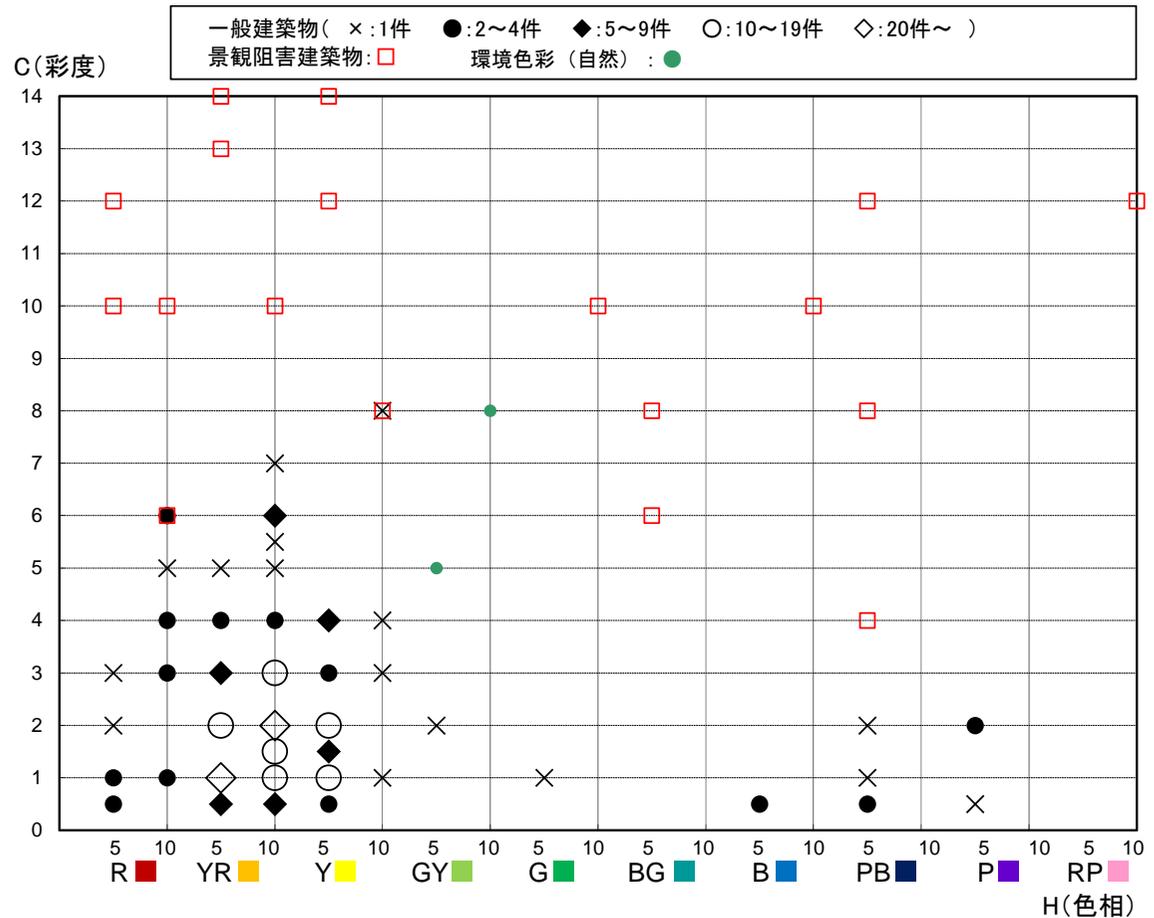
(5) 色彩調査

● 全市域（彩度）

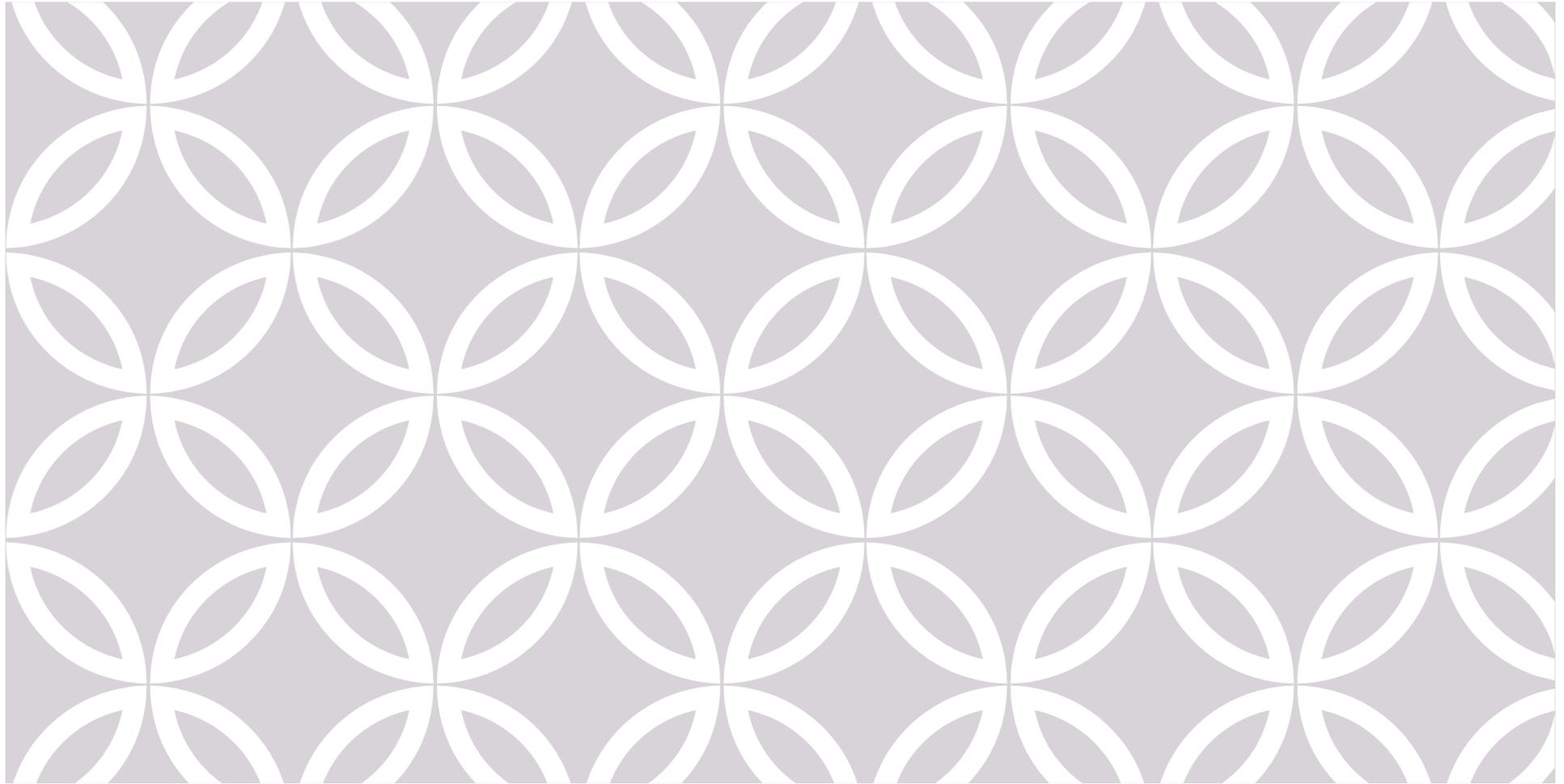
- ・ 八代市の建築物はR、YRは彩度6以下、Yは4以下、寒色系では彩度2以下が多い。
- ・ **景観阻害建築物は彩度8以上の高彩度で鮮やかなものも多く見られる。**



▲ 彩度8以上の建築物イメージ



▲ 彩度分布



5.八代市景観計画の策定方針について

5.八代市景観計画の策定方針について

(1) 策定の背景

- 八代市は、ダイナミックな地形構造の上に、多彩な自然・都市的景観、特徴的な歴史・文化的景観が織成す、重層的かつ固有の景観を有している。
- また、八代市では、以下の課題が顕在化している。
 - ▶ 山林や農地の荒廃、空き家・空地の増加など、潤いのある自然景観や八代らしい雰囲気のあるまちなみ景観が損なわれつつある。
 - ▶ 法的担保がないため、景観誘導に強制力がなく、景観資源の消失が危ぶまれる。
 - ▶ 地域の特性に応じた、きめ細やかな規制誘導策がないため、周辺と調和しない建物や看板が建築されている。
 - ▶ 個別に景観まちづくりの動きはあるが、有機的な連携に乏しい。など
- 一方、市庁舎の建て替えや、大型クルーズ船の寄港などのインバウンド増加等の社会背景を受けて、本町アーケード商店街や日奈久温泉街のまちづくりをはじめとした、地域まちづくりの機運が高まっている。
- 魅力的な地域景観を支える景観まちづくりのマスタープランとして景観計画を策定！

5.八代市景観計画の策定方針について

(2) 策定の目的

- 景観計画や景観条例の制定により、**具体的な目標像やルールを定め、地域全体で共有する。**
- 景観計画や景観条例を制定することにより、景観まちづくりに関して**一定の強制力を持ったルールを作る。**
- 景観法の諸制度の活用により、市民、企業、行政のそれぞれが主体となり、**協働して景観まちづくりを推進する。**

5.八代市景観計画の策定方針について

(3) 景観まちづくりの必要性

景観とは

- 景観とは「目と心に映るまちの姿」。
- 目に見える色や形だけでなく、その土地の歴史、文化、風土、都市活動や日常生活から生じる雰囲気、さらには、水の流れる音や匂いなど、**人間の五感を通して感じられるもの。**

景観まちづくりとは

- 景観まちづくりとは、**地域固有の美しい景観を、守り、育み、創り出し、次世代へ継承していく**ことで、魅力あるまちにしていく、一連の取り組み。
- 歴史資源の保全や美しいまちなみの創出など、大きな取り組みの他に、**地域の清掃や緑化**などの日常の地道な活動も、大切な取り組みのひとつ。
- 景観まちづくりの対象は**、私たちが日常的に見ている、自然の景色や道路等の公共空間だけでなく、通りから見える**個人の建物や庭なども含む。**
- 良好な景観の形成には、市民一人ひとりが、身の周りの景観づくりを意識して、**持続的に取り組んでいくことが必要。**

5.八代市景観計画の策定方針について

(3) 景観まちづくりの必要性

景観まちづくりの必要性

- 良好な景観は、私たちの暮らしに潤いや落ち着きを与えると同時に、そのまちに「住んでみたい、住み続けたい」と感じさせる都市の魅力となる。
- 景観まちづくりの取り組みは、地域への愛着や誇りを育み、豊かなコミュニティを形成する。
- まちの個性や魅力を引き立てることで、観光客の増加や集客力の向上にもつながり、観光や地域間交流、産業活動、文化活動に活力を与え、地域の活性化につながる。
- 豊かな自然や歴史、文化、多様な地域性は、八代市の個性であり、子供たちに残すべき市民共有の財産。
- 「八代らしさ」を活かした良好な景観まちづくりに、市民一人ひとりが、当事者であることを意識しながら、積極的に取り組むことが大切。

5.八代市景観計画の策定方針について

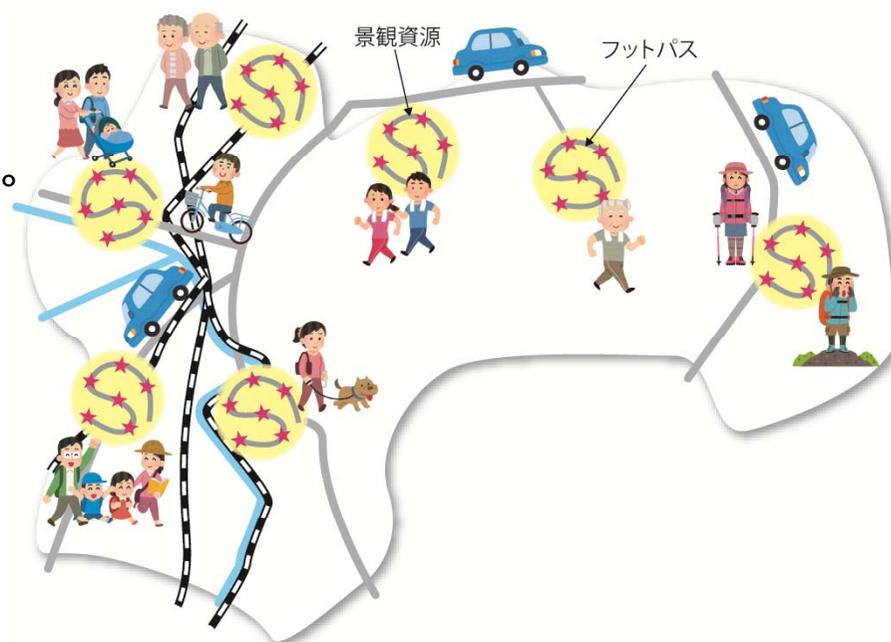
(4) 景観まちづくりの舞台としてのフットパス

- 景観まちづくりの具体的な**活動舞台**として、景観資源（“お宝景観”と呼びます）が集積し風景を楽しみながら歩ける、ふだんから利用している小径“**フットパス**※”が上げられる。
- 八代市では、**景観まちづくりへの円滑な展開**を見据えて、市民の暮らしの基盤としてのこの“**フットパス**※”に**焦点を当て計画を策定**する。
- “**フットパス**※”を中心に清掃・花植え等の手が加えられ、市民や来訪者の誰もが景観を楽しみながら快適に過ごすことができる空間づくりを進める。

※フットパスとは、森林や田園地帯、古い街並みなど、地域の昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径のこと。

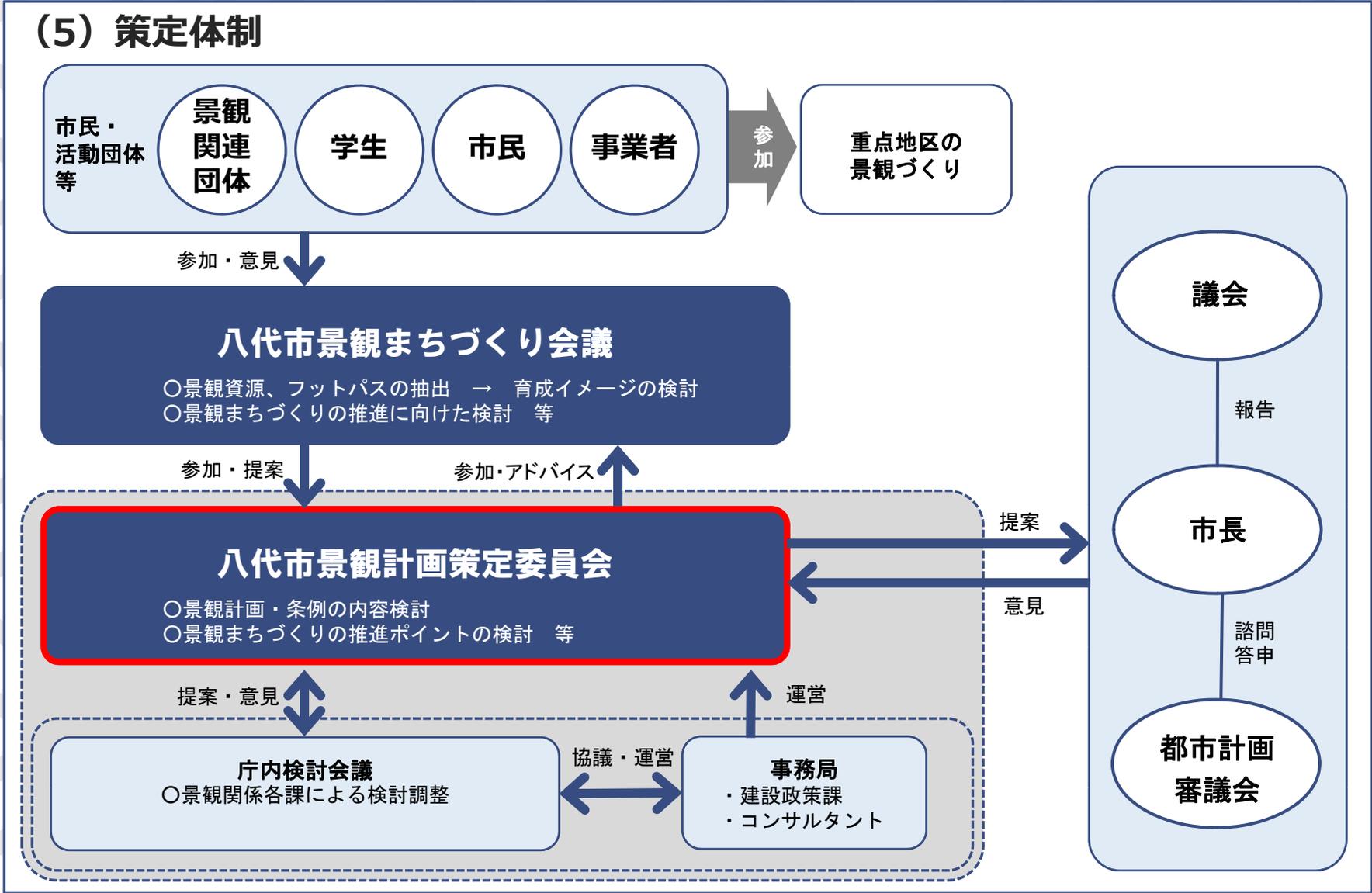


▲八代市内のフットパスイメージ



▲自動車、自転車+フットパスネットワークのイメージ

5.八代市景観計画の策定方針について

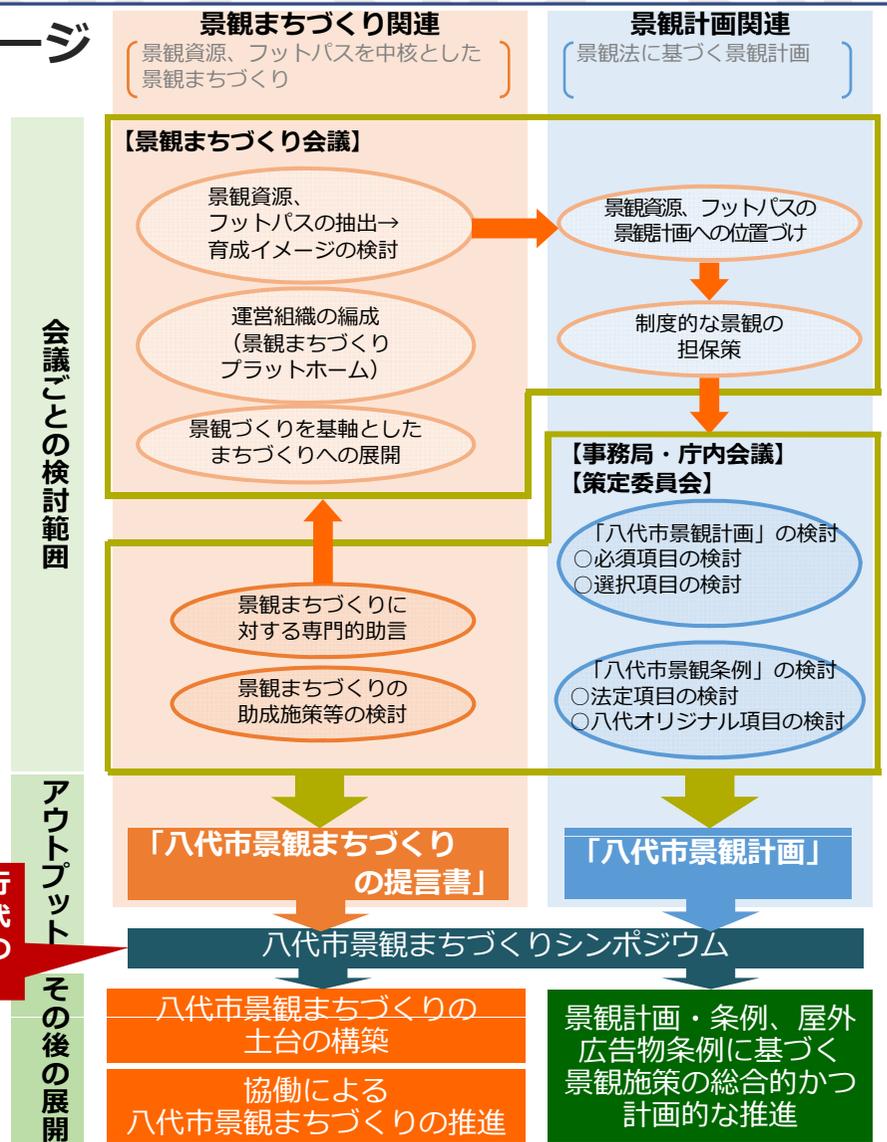
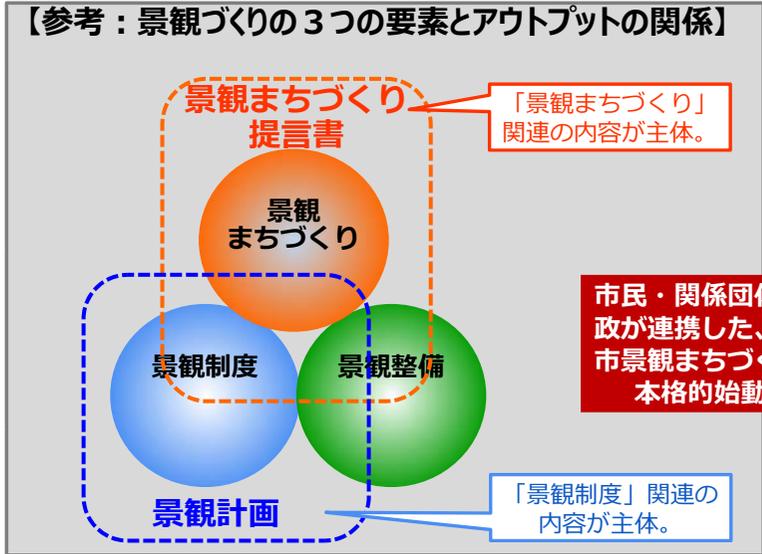


5.八代市景観計画の策定方針について

(6) 会議毎の役割とアウトプットイメージ

(策定委員会の役割)

八代市景観計画策定の**中核的な機関**として、**市民会議**での意見や**現地調査**での情報等を踏まえつつ、**専門的な視点**により、主に**八代らしい景観計画**や**景観まちづくりのあり方**等について検討を行う。



5.八代市景観計画の策定方針について

(7) 八代市景観計画の構成と検討ポイント

八代市景観計画の骨子案

第1回策定委員会
での議題

景観計画の構成の提案	ポイント
序章 景観づくりの考え方 第1節 景観計画策定の背景と目的 第2節 景観まちづくりの必要性 第3節 景観計画の位置づけ 第4節 八代市の景観特性、景観の主な問題点と課題 第5節 フットパスを用いた景観まちづくり	景観計画を策定する背景や目的、景観計画の位置付けを示します。 八代市の景観構造や、景観特性と問題点・課題を整理します。 写真や図面を使い、分かりやすいよう整理します。
本編 第1章 景観計画の区域 第2章 良好な景観の形成に関する方針	景観形成に向けた基本理念や基本目標を設定します。 八代市の景観特性に応じた区分を設定し、それぞれの地区の景観形成方針を定めます。
第3章 良好な景観形成のための行為の制限に関する事項 第4章 景観重要建造物・景観重要樹木の指定の方針 第5章 景観重要公共施設の整備に関する事項 第6章 屋外広告物の表示等の制限に関する事項	一般地区・重点地区等の地区区分別に景観形成基準を設定します。 景観上重要と判断される建造物および樹木の選定方針の検討を行います。 景観重要公共施設としての指定にふさわしい道路や河川、公園などの指定方針を検討します。
第7章 景観づくりを推進するために	市民・事業者・行政が協働した景観まちづくりの考え方や施策、推進体制を整理します。

参考①

参考②

参考③

5. 八代市景観計画の策定方針について

(7) 八代市景観計画の構成と検討ポイント

【参考】宇城市の例（一部抜粋）

参考①

宇城市の景観構造

○市の景観特性の土台となる景観構造は、市西部宇土半島の半島景観、東部の九州山脈西端の山すそと丘陵地から成る景観、及びこれらに挟まれた中部の干拓地・平野に広がる広大な田園景観と市街地の景観、この4つの大景観により構成されています。

▲宇城市の景観構造

宇城市の主な景観特性

自然景観

○不知火海沿岸の美しい海浜から宇土半島のなだらかな丘陵へとつづく変化に富んだ半島景観

○九州山脈西端の山すそと丘陵地からなる起伏に富んだ美しい山地景観

歴史・文化的景観

○三角西澤や松島の土壁白壁のまちなみ、点在する歴史的建造物や石積軒など、宇城市らしさを醸成する様としての固有の歴史的景観

○不知火にまつわる景勝地や、棚田と一体となった山間集落、広大な田園景観、神楽をはじめとした祭事等、生活文化や風土に根ざした特有の文化的景観

まちなみ景観

○松崎駅周辺や小川商店街をはじめとした、開放感のある落ち着いた市街地景観、阿蘇総合運動公園等の魅力ある都市公園の景観

○大景観を東西・南北につなぐ、市の玄関口及び骨格軸としての幹線沿道景観

参考②

2. 良好な景観の形成に関する方針

景観計画の区域

市全域を景観計画の区域として定めます。

基本目標と基本方針

市民一人ひとりが心から市の景観づくりの取り組み、宇城の魅力と固有の景観づくりを次世代に引き継ぎ、住む人にとっても、訪れる人にとっても、誰もがずっと大切にしたい、心地よいまちとしていくために、以下を景観づくりの基本目標として定めます。

基本目標

不知火海沿岸の豊かな自然と 独自の文化を土台とした
みんなが誇れる うきうき宇城景観づくり！

目標実現に向けて、宇城市景観の4つの特性ごとに、景観づくりの基本方針を以下のように定めます。

<p>自然</p> <p>1 不知火海への良好な眺望景観を守り・育てる！</p> <p>2 九州山脈・宇土半島の山なみ・丘陵地への良好な眺望景観を守り・育てる！</p>	<p>歴史・文化</p> <p>3 日本の近代を支えた三角西澤の景観や点在する歴史的景観を守り・育てる！</p> <p>4 不知火海沿岸地域の固有の文化的景観を守り・育てる！</p> <p>5 懐かしさを感じる秋葉的な集落地、開拓地帯等の文化的景観を守り・育てる！</p>
<p>まちなみ</p> <p>6 市の顔となる市街地の景観を守り・育てる！</p> <p>7 幹線沿道沿線の骨格景観軸を守り・育てる！</p>	

しくみ

8 景観の景観まちづくりの推進を図る！

9 多角的な景観形成を促すしくみを図る！

10 景観形成に向けた効果的な景観PRを図る！

景観構造別景観形成方針

2 不知火海・半島景観ゾーン
不知火海沿岸・宇土半島の美しい自然景観、及びこれと調和したまちなみ景観の保全・育成

3 市街地景観ゾーン
松崎や小川の市街地における、市の顔にふさわしい品格のあるまちなみ景観の育成

5 幹線沿道沿線景観軸（特定施設沿道地区）
幹線沿道沿線における、景観軸にふさわしい、見られることを意識した半島景観の育成

4 干拓地・田園景観ゾーン
干拓地の開放感のある美しい田園景観、及びこれと調和した良好な集落地景観の保全

▲景観構造区分図

山なみ・東海景観ゾーン
九州山脈の山なみの美しい自然景観、及びこれと調和した棚田・集落地の文化的景観の保全

〈景観形成地域〉（⇒P8 景観形成地域別の景観形成方針）

■A. 三角西澤文化的景観地区

■B. 三角西澤景観形成地域

凡例
 景観形成地域ゾーンAの
 景観形成地域ゾーンBの
 伊勢崎沿道沿線景観ゾーン

▲景観形成地域区分図

5.八代市景観計画の策定方針について

(8) 八代市景観計画の策定イメージ

景観特性

八代市の景観とはこんな景観です

課題

こんな問題、改善すべきことがあります

目標

こんな景観にしたい（夢を描く）

基本方針・ 推進戦略

そのために、こんなことをしていく

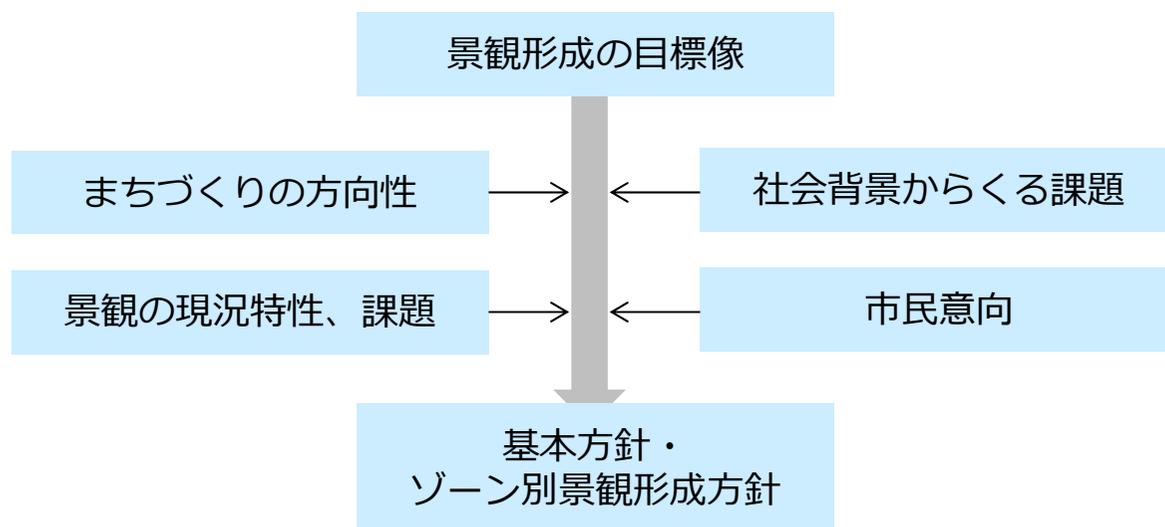
ルール

こんな色彩・素材にしましょう、緑化に努めましょう
など

5.八代市景観計画の策定方針について

(9) 基本方針・ゾーン別景観形成方針の検討 [景観法第8条第3項]

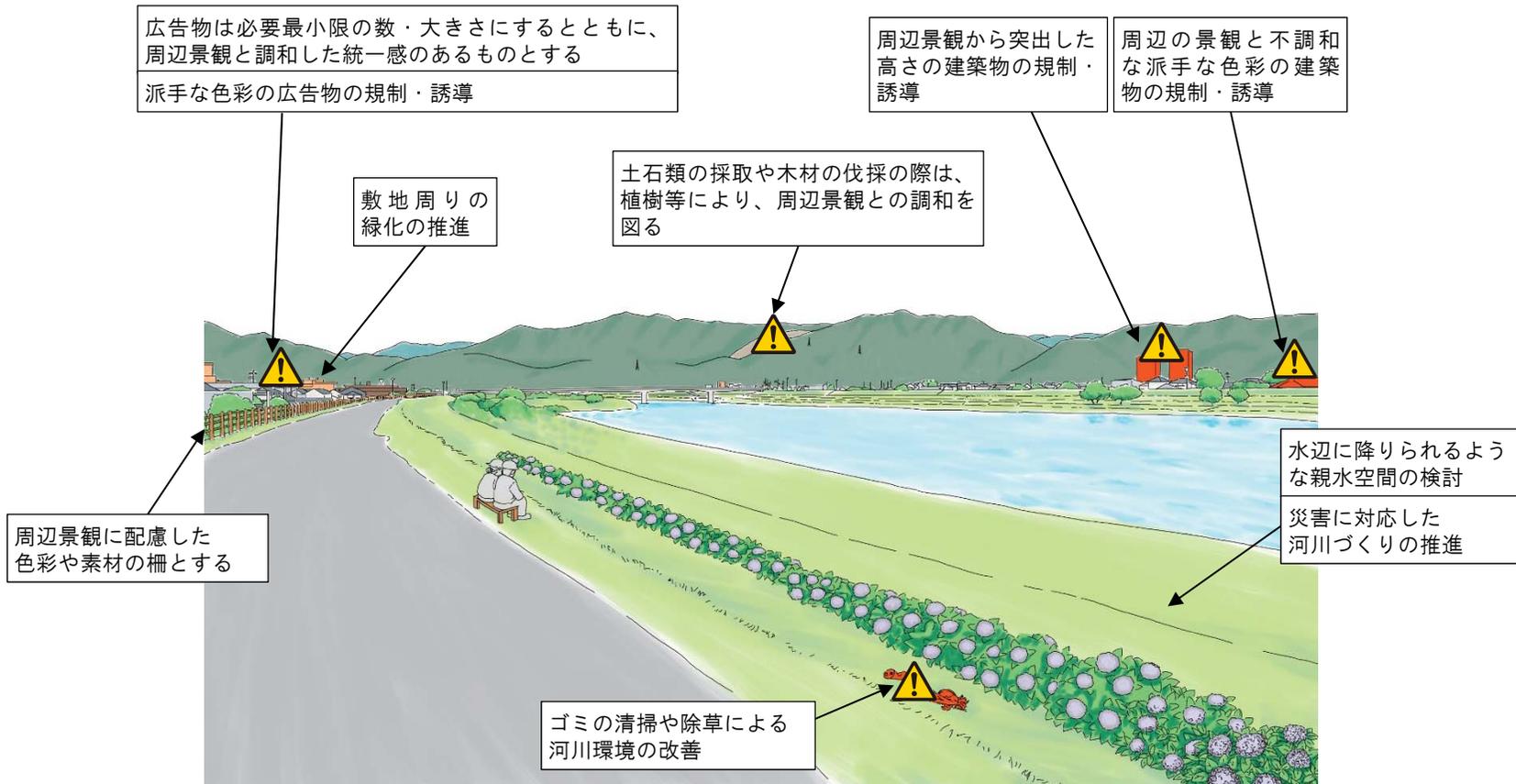
- 景観基礎調査や景観まちづくり会議の結果を踏まえつつ、景観構造（ゾーン）ごとの景観特性、上位・関連計画に見るまちづくりの方向性等を基に、**八代市の景観の目指すべき目標像とそれを実現するための基本方針・ゾーン別景観形成方針**を検討する。
- また、**重点的に景観を形成すべき地区**等についても、自然、歴史、文化等からみて良好な景観形成に関する方針を検討する。



▲基本方針・ゾーン別景観形成方針の検討フロー

5.八代市景観計画の策定方針について

●ゾーン別景観形成方針のイメージ

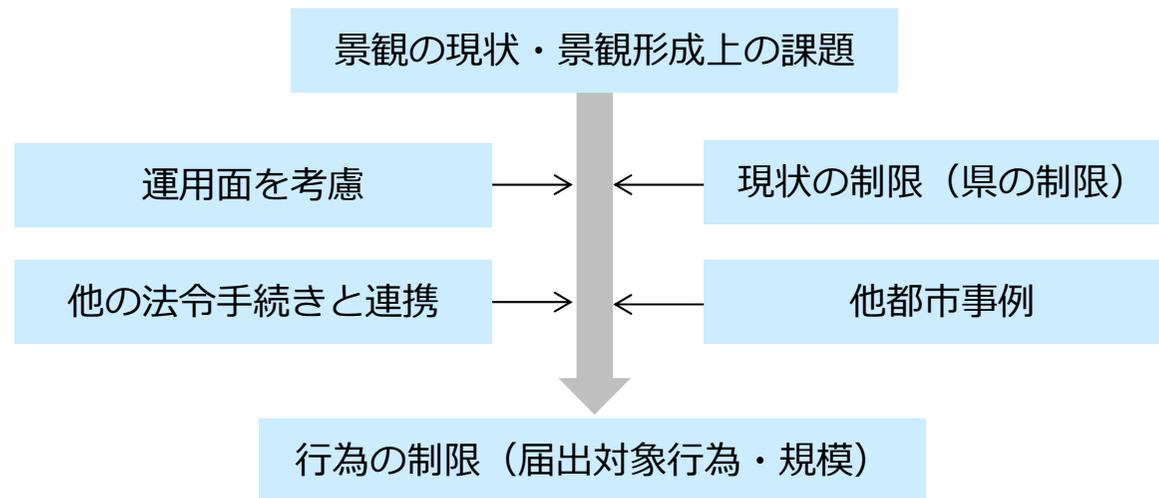


▲景観づくりのイメージ（例）

5.八代市景観計画の策定方針について

(10) 届出対象行為・規模の検討 [景観法第8条第2項第2号]

- 現状の制限を参考としながら、景観形成の目標、方針を実現するため、区域ごとの届出対象行為・規模に関する事項を検討する。
- 届出対象行為の設定に当たっては、現況特性・課題より具体の守るべき景観、改善すべき建築物等について特定の上、届出件数の想定との比較により、運用面を考慮して設定する。
- その際、他の法令の手続き・届出対象と連携させることにより、届出漏れが極力ないような設定対象とする。

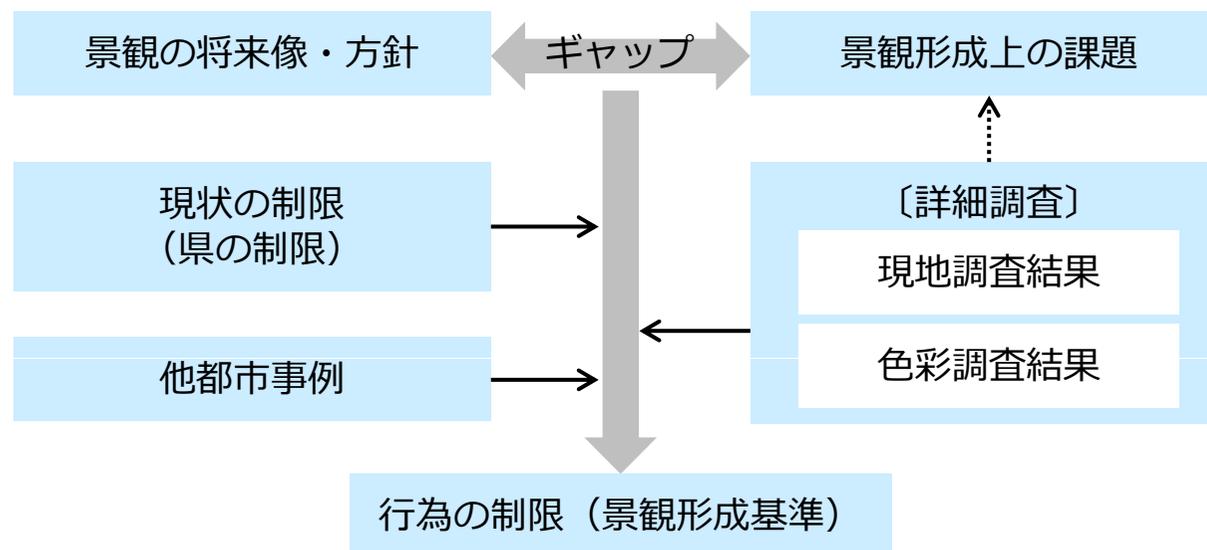


▲届出対象行為・規模の検討フロー

5.八代市景観計画の策定方針について

(11) 景観形成基準の検討

- 現状の制限を参考としながら、景観形成の目標、方針を実現するため、区域ごとの景観形成基準に関する事項を検討する。
- 景観形成基準の設定に当たっては、色彩調査結果や他都市事例を参考としつつ、景観形成の将来像・方針と、現況課題を比較し、将来像実現のために必要な基準を設定する。
- 図解等のビジュアルな資料の作成、及び「事前相談制度」や「景観アドバイザーシステム」等の運用面の仕組みにより、定性的な基準に関しても実効性を担保するための方策を検討する。



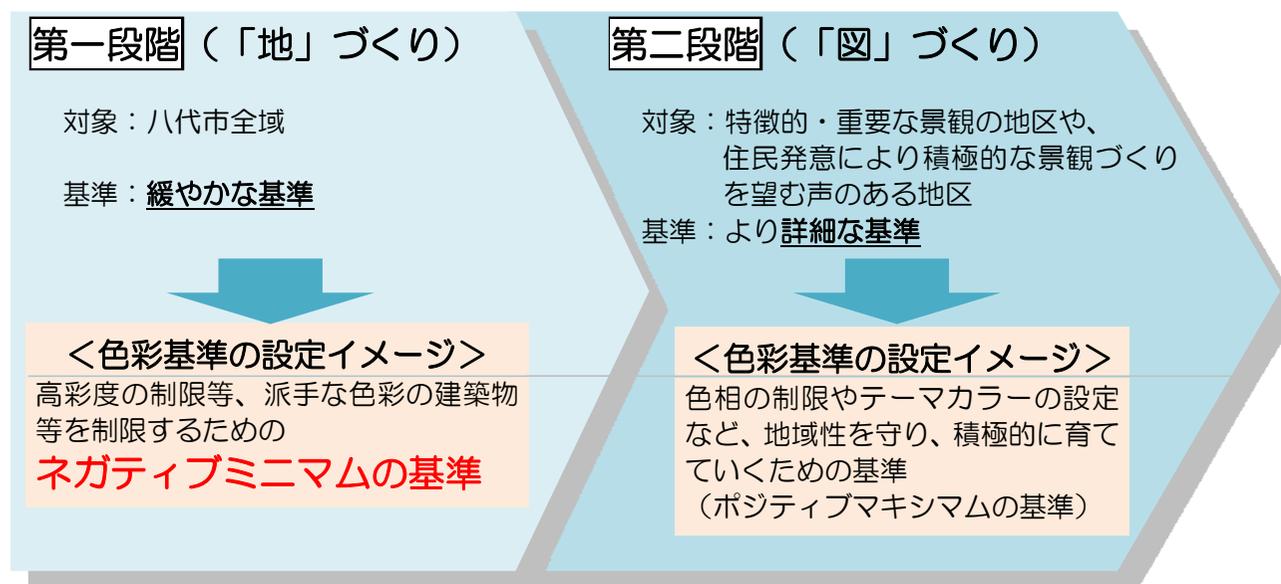
▲ 景観形成基準の検討フロー

5.八代市景観計画の策定方針について

(12) 色彩基準の検討 [景観法第8条第2項第2号]

(色彩基準設定の基本的考え方)

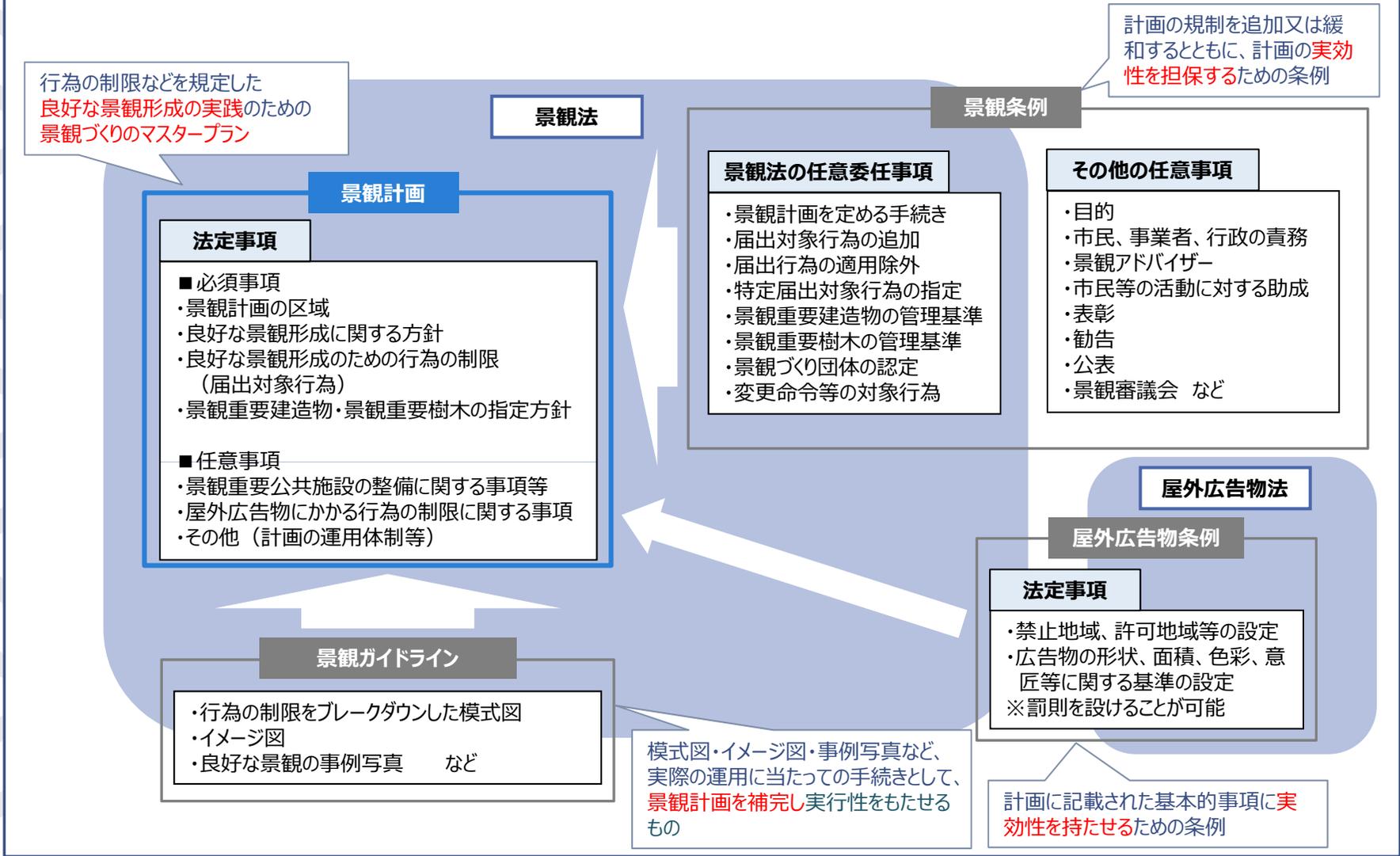
- 計画策定の際には、第一段階にあたる全市景観の「地」づくりとともに、景観重点地区については、第二段階の「図」づくりを意識しつつ、基準値等の検討を進める。
- 色彩基準についても、景観計画の目的に合ったレベルの基準を、地域ごとの色彩の傾向等を踏まえつつ段階的に検討する。



▲色彩基準の段階的設定イメージ

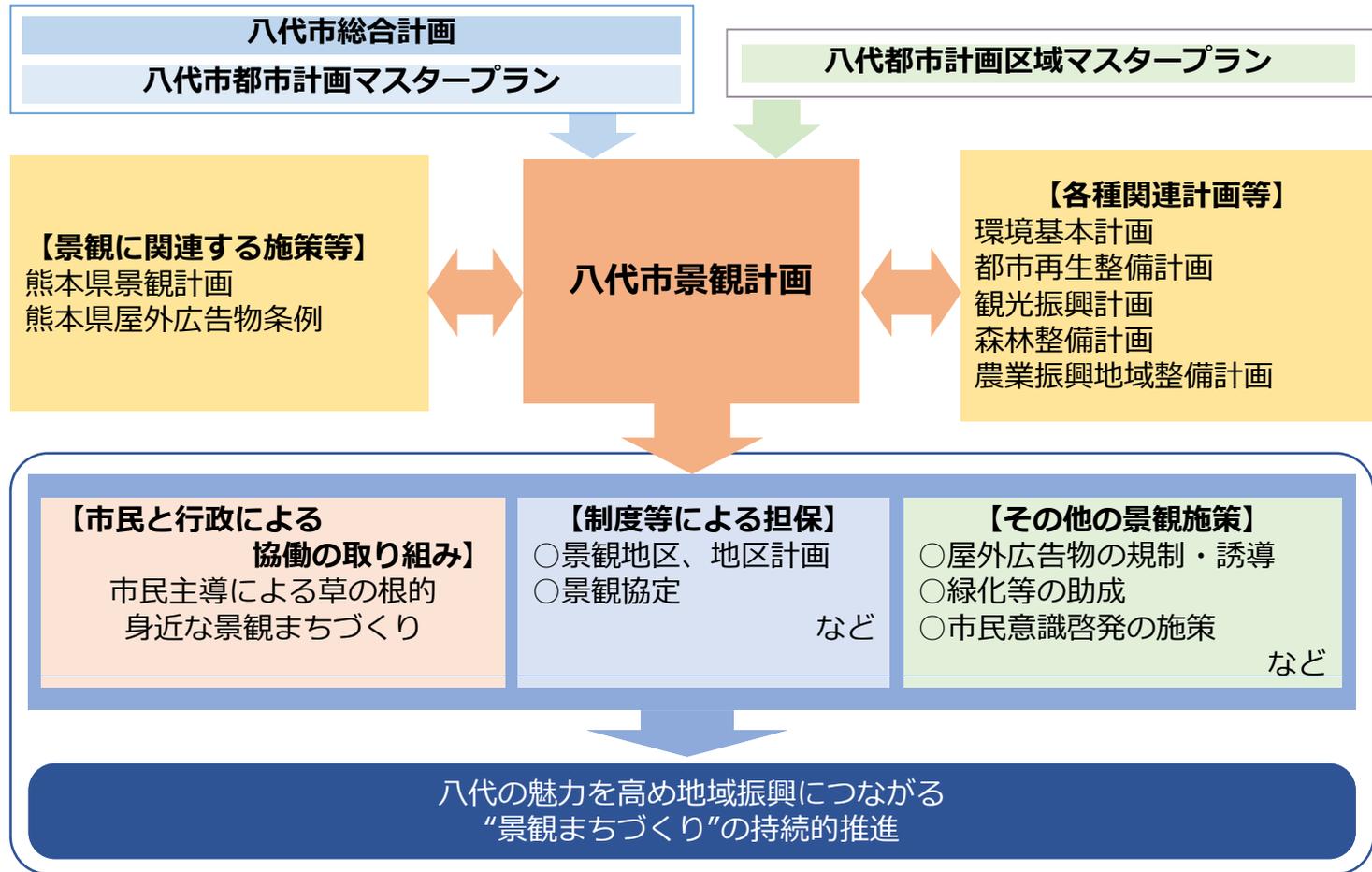
5.八代市景観計画の策定方針について

(13) 八代市景観計画、八代市景観条例、八代市景観ガイドラインの設定(関係性)



5.八代市景観計画の策定方針について

(14) 他の関連計画



▲景観関連計画の関係性

5.八代市景観計画の策定方針について

(14) 他の関連計画

計画	計画名称	景観計画との関係性（キーワード）
①総合計画	八代市総合計画 2008-2017 (平成20年4月)	<ul style="list-style-type: none">・美しい風景と魅力ある特産品に笑顔が集うまち・清流と緑、観光資源を活かしたうるおいのまち
②都市計画区域 マスタープラン	八代都市計画区域 マスタープラン [熊本県策定] (平成22年3月)	<ul style="list-style-type: none">・緑地景観の保全を図る・棚田や沿岸部に残る干拓遺跡の保全を図る・集落や住宅周辺の緑化の促進
③都市計画 マスタープラン	八代市都市計画 マスタープラン (平成22年3月)	<ul style="list-style-type: none">・自然や歴史など八代固有の資源を大切にしたまち・美しい景観、快適なまちなみなどに包まれたまち
④景観計画	熊本県景観計画 (平成20年1月公表、 平成28年10月修正)	<ul style="list-style-type: none">・主要幹線道路沿いを特定施設届出地区に指定
⑤屋外広告物条例	熊本県屋外広告物条例 (平成27年4月改定)	<ul style="list-style-type: none">・主要幹線道路沿いを屋外広告物条例で規制

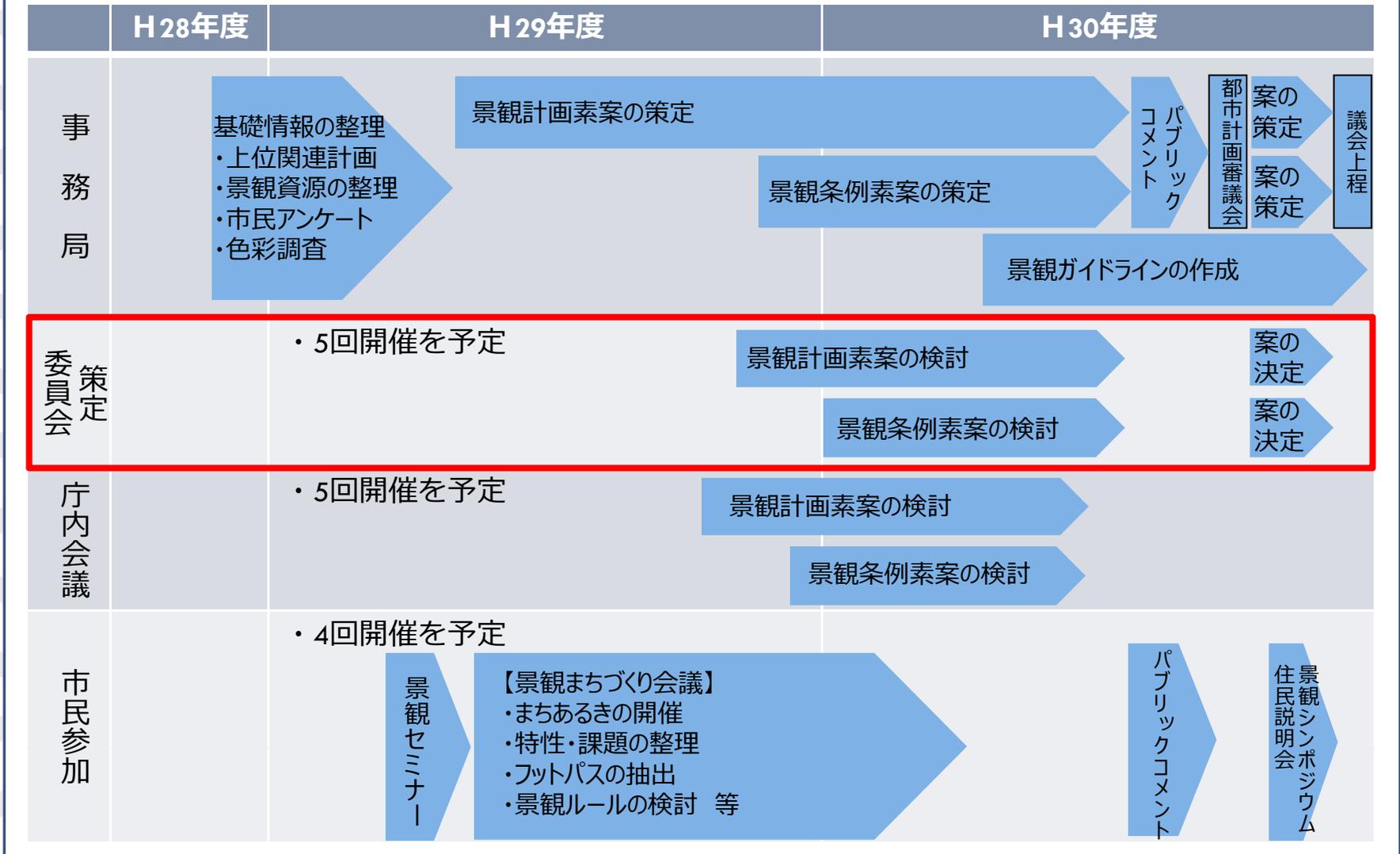
5.八代市景観計画の策定方針について

(14) 他の関連計画

計画	計画名称	景観計画との関係性（キーワード）
⑥環境基本計画	八代市環境基本計画 －改訂版－ (平成27年1月 改定)	<ul style="list-style-type: none"> ・人と自然が調和するまち ・自然の豊かさと多様さを実感できるまち
⑦都市再生整備計画	都市再生整備計画事業（旧まちづくり交付金）	<ul style="list-style-type: none"> ・花づくりを活かした水と緑の潤いのあるまちづくり ・「新駅周辺地区」・「中心市街地」・「歴史的観光拠点」の連携による賑わいの再生 ・歴史の香りと温泉情緒が漂うもてなしと元気に満ちたまちづくり
⑧観光振興計画	きなっせ やつしろ 八代市観光振興計画 (後期) (平成29年6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・八代のそれぞれの魅力が光り、つながることによって質の高い時間を提供するまち
⑨森林整備計画	八代市森林整備計画 (平成29年3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・美的景観の維持・形成に配慮した森林整備 ・風致のための保安林の指定や適切な管理
⑩農業振興地域整備計画	八代農業振興地域整備計画書 (平成29年4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・水稻、い草、施設園芸の振興など優良農地の確保 ・耕作放棄地の解消や農用地等の保全

5.八代市景観計画の策定方針について

(15) 策定スケジュール



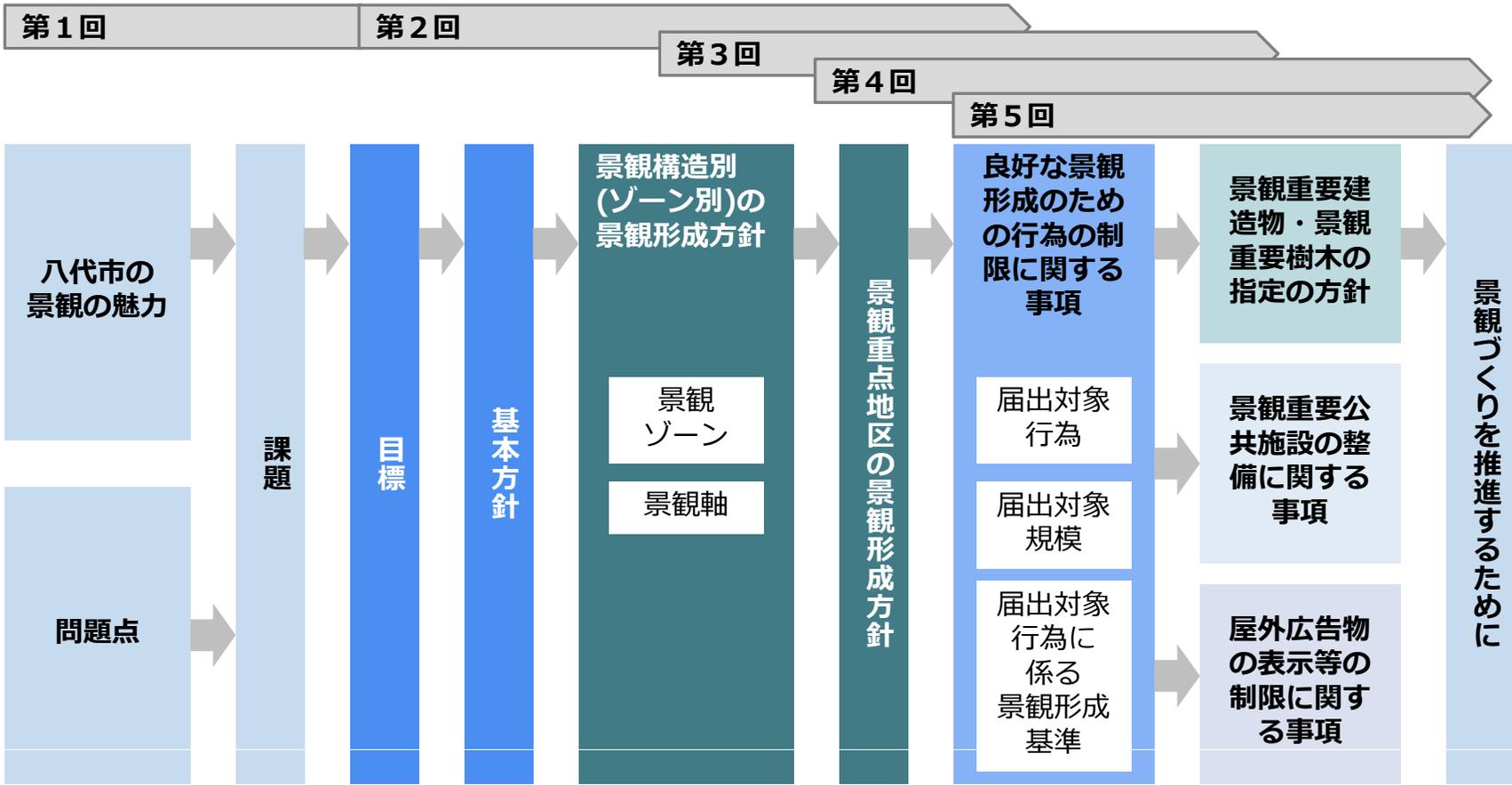
5.八代市景観計画の策定方針について

(15) 策定スケジュール

	時期	主な内容
第1回	H30.2	<ul style="list-style-type: none">● 景観関連会議の実施報告● 景観基礎調査の結果報告● 景観計画の策定方針の検討● 景観計画素案の検討
第2回	H30.4 (予定)	<ul style="list-style-type: none">● 景観関連会議の実施報告● 景観計画素案の検討● 景観条例の策定方針と骨子案の検討
第3回	H30.6 (予定)	<ul style="list-style-type: none">● 景観関連会議の実施報告● 景観計画素案の検討● 景観条例素案の検討
第4回	H30.9 (予定)	<ul style="list-style-type: none">● 景観計画素案の検討 (決定)● 景観条例素案の検討 (決定)
第5回	H31.1 (予定)	<ul style="list-style-type: none">● 景観計画 (案) の決定● 景観条例 (案) の決定● 景観施策の検討

5.八代市景観計画の策定方針について

(16) 策定プロセス





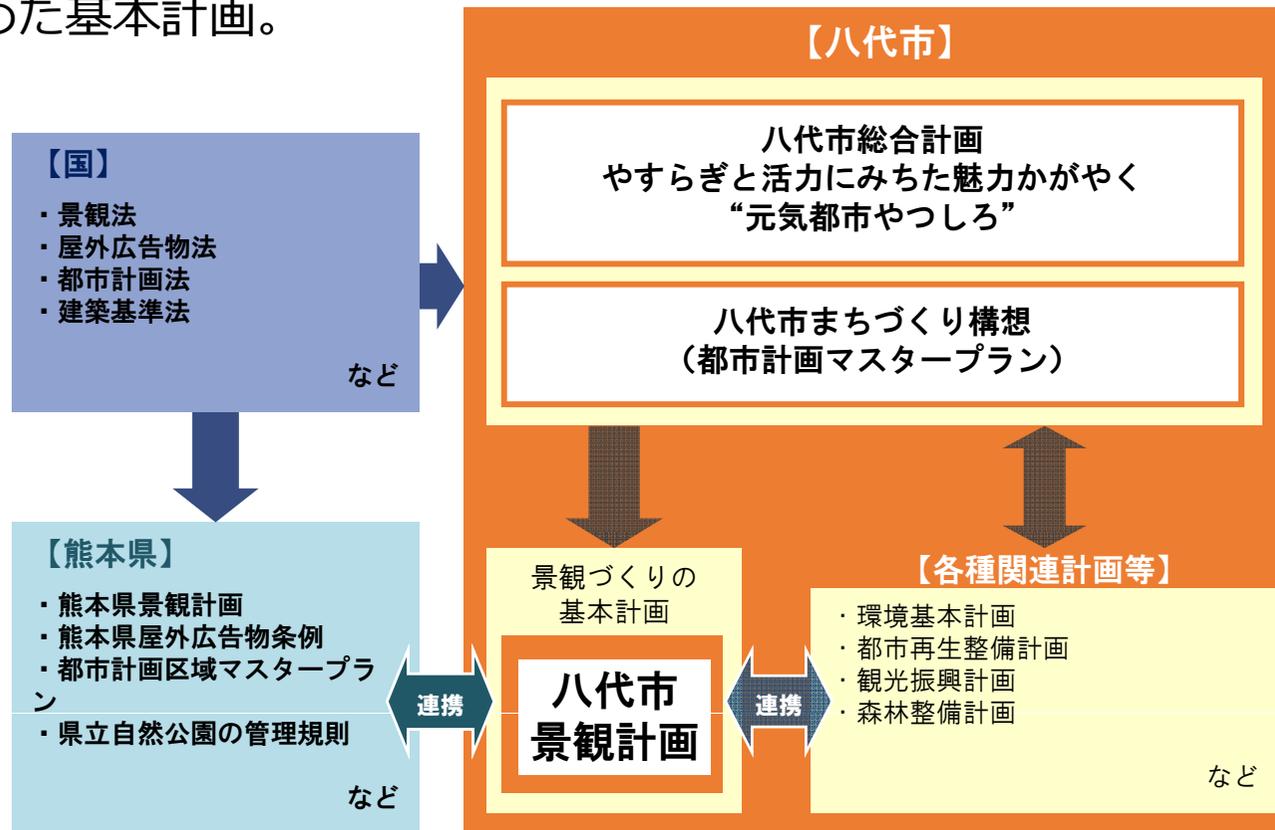
6.八代市景観計画素案について

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

1) 景観計画の位置づけ

- 八代市景観計画は、景観法第8条の「良好な景観の形成に関する計画」として定め、八代固有の景観を“守り”“育み”“つくり”、次世代に誇れる景観として引き継ぐために、目標や方針を達成するための取り組み、景観形成基準等を定めた基本計画。



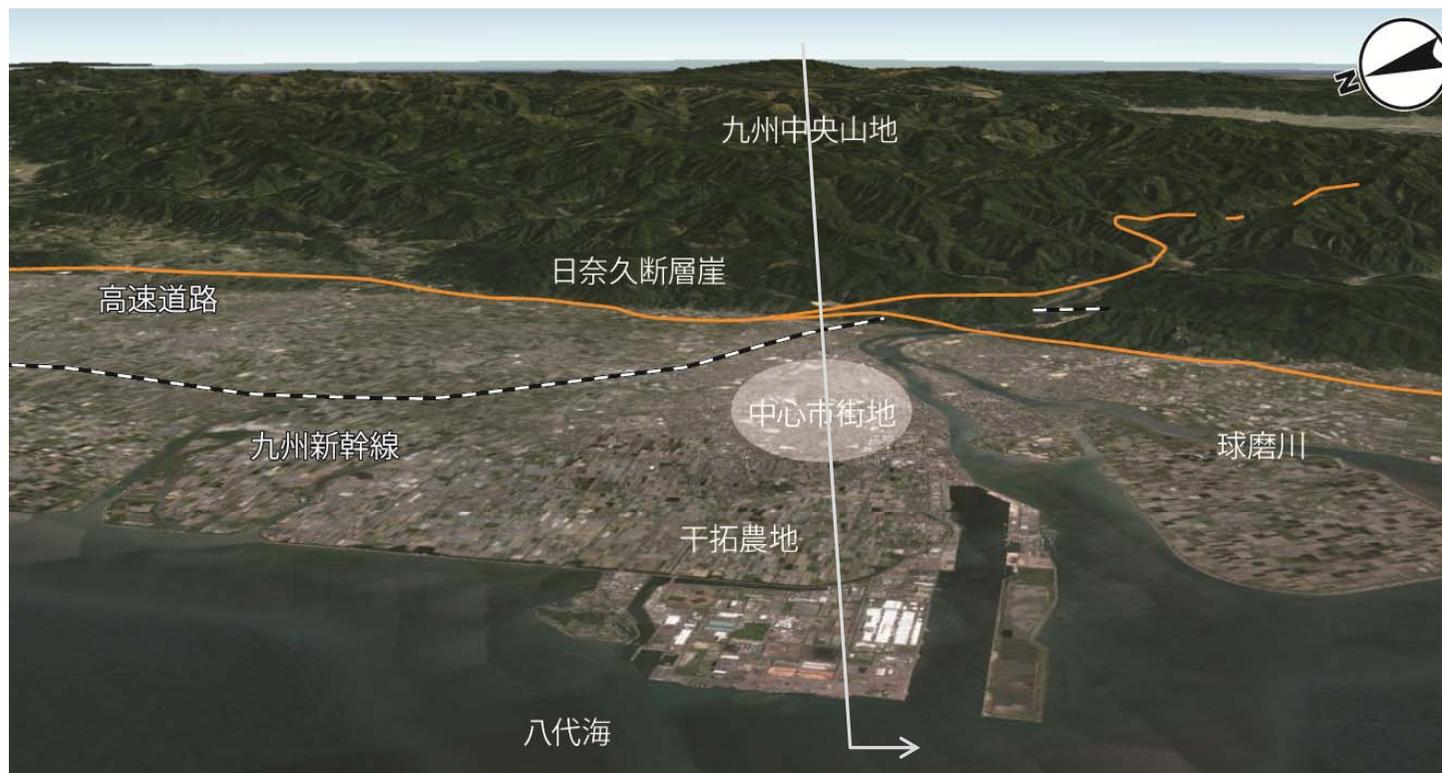
6. 八代市景観計画素案について

(1) 序章

2) 景観構造

● 景観構造の土台

- 日奈久断層崖に沿って東側の山間部と西側の平野部に大きく区分



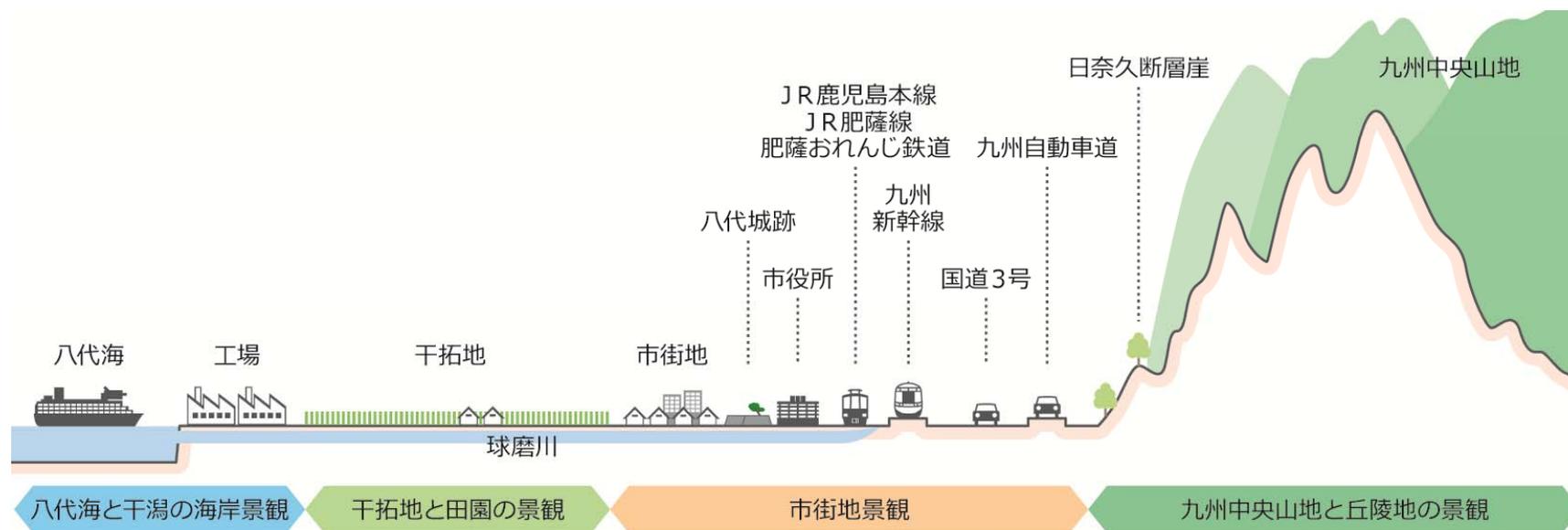
6. 八代市景観計画素案について

(1) 序章

2) 景観構造

● 景観構造の土台

- 東側の九州中央山地から日奈久断層崖の市街地にせまった斜面緑地を經由して、西側に広大な干拓農地が広がり、八代海に至る多様でダイナミックな地形



6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

2) 景観構造

● 4つの景観域と3つの景観軸で構成

- 九州中央山地と丘陵地からなるやまなみの景観、八代海と干潟の海辺景観、干拓地と田園の景観、まちなかの景観の4つの景観域により構成
- 八代海に注ぐ球磨川や氷川等の「河川景観軸」
- 南北に走る国道3号や国道219号、九州自動車道、東西に走る国道443号、臨港線等の「道路景観軸」
- JR鹿児島本線、肥薩おれんじ鉄道、九州新幹線等の「鉄道景観軸」が景観構造の骨格を形成



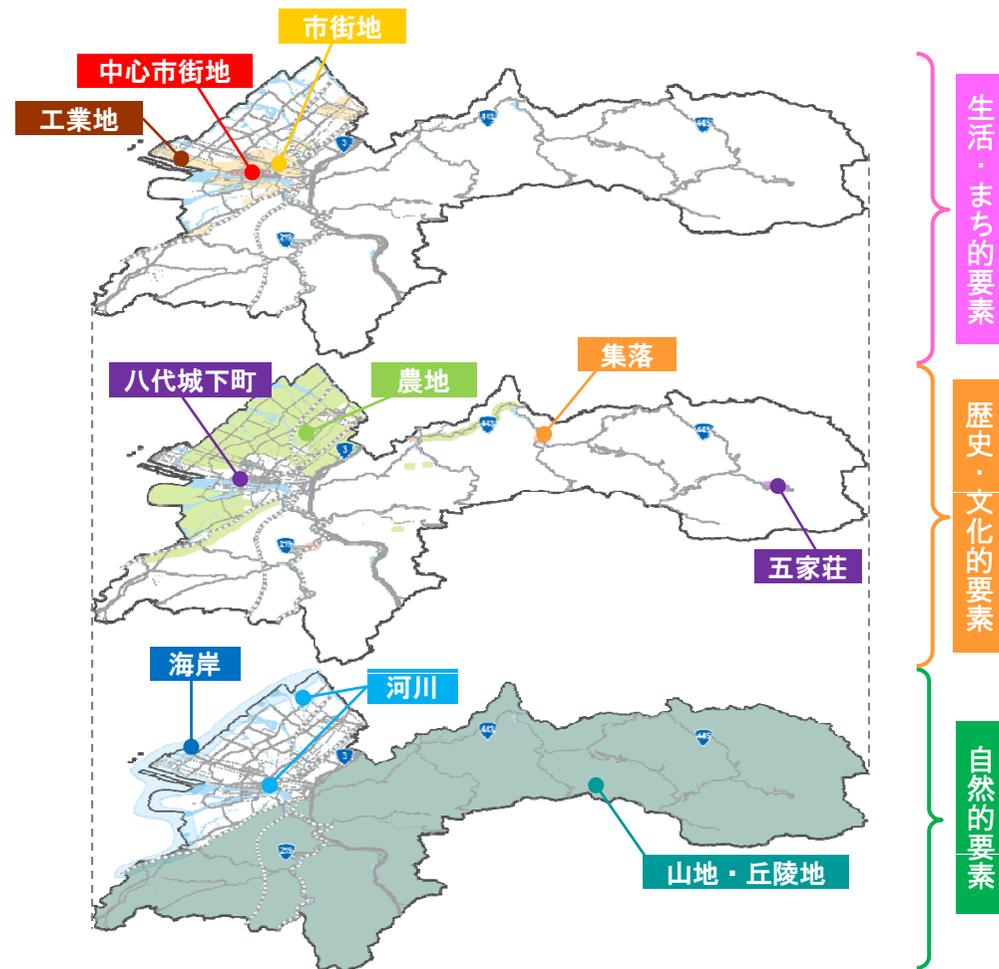
6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

3) 八代市の景観の構成要素

●八代市の景観の美しさは、以下の3つの要素に分類でき、これらの要素が様々な混ざり合い形成

- 「生活・まち的要素」：住宅地や商店街、工業地等、人々の日常生活のフィールドとなるもの
- 「歴史・文化的要素」：集落、農地、歴史的まちなみ等、長い時間をかけて人々の営みの中で形成されたもの
- 「自然的要素」：海岸、山林、緑、河川等、ありのままの自然



6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

主な景観特性を、自然景観、歴史・文化的景観、まちなみ景観に分類。

① 自然景観

●九州中央山地と丘陵地からなる「やまなみ景観」

- 東部は、九州中央山地国定公園や、五木五家荘県立自然公園に指定された山間部。
- 熊本県最高峰の国見岳を中心に森林が広がり、五家荘の紅葉・新緑や美しい溪谷と吊り橋からの眺め、国指定名勝の走り水ノ瀧をはじめとする滝、龍峯山自然公園や八竜山自然公園の山並み景観など、四季折々の変化にとんだ緑の景観を見せる。



▲さかもと八竜天文台からの山並み



▲走り水ノ瀧



▲梅の木轟公園吊橋

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

①自然景観

●九州中央山地と丘陵地からなる「やまなみ景観」

- 急峻な山々が連なる谷沿いの幹線道路沿線を中心に棚田が分布し、農林業を主体とする山村集落地が点在。
- 山並みの景観は、市街地平野部からの眺めの背景となり、市内全体の景観に視覚的な潤いを与えている。



▲平野部からの山並み



▲氷川ダム



▲山並みと棚田

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

①自然景観

●八代海と干潟の「海辺景観」

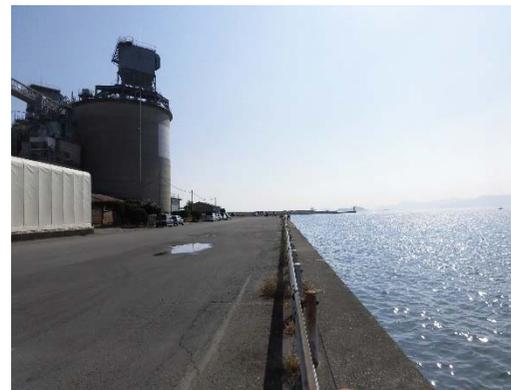
- 西部には豊富な魚介類を育む雄大な八代海と、広大な干潟の海辺景観が広がる。
- 八代海に注ぐ球磨川の河口港として発展してきた八代港は、県下最大の重要港湾。平成29年7月には国の国際旅客船拠点形成港湾に指定され、海外からの大型クルーズ船の入港が増加。
- 八代港の周辺には工場地が広がり、八代海を背景にした工場群は本市の特徴的な景観のひとつ。



▲大型クルーズ船



▲工場地のクレーン群



▲八代海と工業景観

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

① 自然景観

● 八代海と干潟の「海辺景観」

- 市域の西側一帯に海域が広がっているため、各所から八代海に映える**美しい夕日**を眺めることができる。
- 国指定名勝「不知火及び**水島**」は夕日と干潟をセットで見ることができる**眺望スポット**。
- 八代港からは**三ツ島・雲仙・天草への眺望**や、八代海を背景にした工場群・クルーズ船と夕日の景観が楽しめる。
- 干潟には多くの貴重な干潟生物が生息し、**シギ・チドリ類の飛来地**となっている。



▲水島と夕日



▲三ツ島・雲仙・天草の眺望



▲球磨川河口干潟・渡り鳥飛来地

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

①自然景観

●球磨川・氷川・流藻川などの「河川景観」

- 市の中央部を貫き、八代海に注ぐ球磨川や氷川、流藻川等の河川沿いは、水と緑の景観軸を形成。
- 球磨川の悠然とした流れは市のシンボルとなっており、川を渡る橋や土手からは市街地景観や、山並み景観などを遠望することができる。
- 流藻川沿いは自然を楽しむ川辺の散歩道として人気。



▲球磨川



▲氷川



▲流藻川

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

①自然景観

●球磨川・氷川・流藻川などの「河川景観」

- 河川沿いは散歩やサイクリングなど、**レクリエーションの場**として人々に親しまれている。
- **球磨川の河川敷**には球磨川河川敷スポーツ公園が整備され、ソフトボールやサッカー等のスポーツや「**やつしろ全国花火競技大会**」などのイベントを楽しむ人が、数多く訪れている。



▲宮地親水公園



▲球磨川堤防道路



▲やつしろ全国花火競技大会
(球磨川河川敷)

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

②歴史・文化的な景観

●八代城跡周辺や日奈久温泉街の街並み、五家荘、石橋群などの「歴史的景観」

- 江戸時代から城下町として栄えた中心市街地周辺には、**八代城跡や松浜軒、町屋、徳淵の津跡、蛇籠の船着場**、宮地地区には「妙見さん」と呼ばれ親しまれる**八代神社（妙見宮）、春光寺、紙漉き水路**などの風情ある歴史的景観が残る。
- 600年の歴史を持つ**日奈久温泉**は、**なまこ壁や木造建造物**が残る街並みや**温泉神社**からの眺望が特徴。
- 山間部には、平家の落人伝説で知られる秘境「**五家荘**」、**東陽町の石橋群**などの歴史的景観資源が数多く点在。



▲八代城跡



▲日奈久温泉神社からの眺め



▲笠松橋

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

②歴史・文化的な景観

●八代妙見祭や縦木神楽、干拓地・田園景観、棚田などの「文化的景観」

- ユネスコ無形文化遺産に登録された八代神社（妙見宮）の八代妙見祭神幸行事、植柳の盆踊、泉町の久連子古代踊りや縦木神楽、千丁町の女相撲、鏡町の大鞆節などの生活文化に醸成された文化的景観が多彩。
- 本市西側には球磨川等の河川が運び出す土砂によって形成された沖積平野と、16世紀後半から進められてきた八代海の干拓事業により、広大な八代平野が形成。



▲八代妙見祭



▲女相撲



▲田園景観

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

②歴史・文化的な景観

●八代妙見祭や樅木神楽、干拓地・田園景観、棚田などの「文化的景観」

- 日本一の生産量を誇るイ草や、水稲・トマト等の野菜栽培を通した**四季折々の田園景観**が広がる。
- 干拓地には、干拓事業の遺産である**樋門群**があり、八代を特徴づける景観のひとつとなっている。
- 山間部には、**美生の棚田**をはじめとする生姜畑や水稲の棚田、茶の段々畑と一体となった山間集落が点在し、文化的景観を形成。



▲ビニールハウスの夜景



▲大鞘樋門群



▲茶の段々畑

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

③まちなみ景観

●市役所周辺、本町アーケード商店街、日奈久温泉街などの「市街地景観」

- 江戸時代から城下町として栄えた本市中心部には**城下町の町割り**が今も残り、市街地を形づくる基盤となっている。
- 城下町を通る薩摩街道沿いに町が配置されてきたことから、**八代城跡や市役所、本町アーケード商店街を中心としたエリア**に市街地景観が広がる。
- **日奈久温泉街周辺地区**や、支所周りを中心とした都市計画区域内の幹線道路沿いにも市街地景観が広がる。



▲城下町の風情を残すまちなみ



▲本町アーケード商店街



▲日奈久温泉街

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

③まちなみ景観

- 市役所周辺、本町アーケード商店街、日奈久温泉街などの「市街地景観」
 - 本市は、明治時代から製紙工場等が整備され、県内有数の工業地帯として発展。
 - 中心市街地から、工場の煙突群が眺望できることが市街地景観の特徴。
 - 現在、市役所の新庁舎整備が進められており、庁舎を中心としたエリアの景観整備に注目が集まる。
 - 市役所周辺には、八代市立博物館や、八代警察署などの近代的な建築物があり、洗練された都市景観がみられる。
 - 竜峰山等の山々からは市街地の美しい夜景を見ることができる。



▲市街地の工業景観



▲八代市立博物館



▲市街地の夜景

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

4) 景観特性

③まちなみ景観

●景観の骨格軸としての幹線沿道景観、鉄道沿線景観

- 市内を南北に走る**国道3号**や国道219号、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道、東西に走る国道443号、県道八代港線（**臨港線**）等は本市の**幹線道路**として人々の活動を支えている。
- 国道3号や県道八代港線（臨港線）などの幹線道路の沿道には商業施設が集積し、**賑わいのある沿道景観**となっている。
- JR鹿児島本線、肥薩おれんじ鉄道、九州新幹線等の**車窓**からは、**広大な干拓地や八代海、晩白柚畑や高田みかん畑、球磨川の清流**など、八代ならではの美しい景観を眺めることができる。



▲国道3号沿い（電線地中化）



▲S Lの走る風景



▲車窓からの眺め（坂本町葉木橋）

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

①自然景観

●良好な山並み景観の保全

- 山間部の一部では山肌の露出が目立つところや、ソーラーパネル、携帯電話の電波塔等の構造物が良好な山並み景観を阻害しているところが見られる。
- 耕作放棄地や空き家・空き地もみられる。



▲山肌の露出



▲山間部のソーラーパネル



▲山間部の空き家

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

①自然景観

●良好な山並み景観の保全

- 山並みの眺望に配慮し、大規模な土地の改変の規制や周辺の自然環境と調和した建築物・工作物への景観誘導等による**山並み景観の保全・育成**が必要。
- 特に、五家荘や溪谷の吊り橋、滝、自然公園の展望台など、本市を代表する**眺望スポット周辺の景観保全・育成**が大切。
- 農林業振興との連携を図りながら、山地・丘陵地の荒廃を防ぎ、良好な山並み景観と**山村集落地の景観を保全**していくことが必要。



▲山肌の露出

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

①自然景観

●海辺景観の保全と「海の玄関口」の景観づくり

- 八代海の雄大な景観を活かすため、八代海沿岸や干潟周辺地域では、自然景観と調和した建築物・工作物への景観誘導等による、美しい海辺景観とこれへの眺望の保全・育成が必要。
- 八代港の周辺地区では、国際クルーズ拠点に相応しい「海の玄関口」としての景観づくりが必要。
- 八代海を背景にした工場群と夕日の眺望を活かす取り組みや、大規模な干潟の保全を進める取り組みも必要。



▲干潟のクロツラヘラサギ



▲日奈久港の夕景



▲クレーン群と夕日

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

①自然景観

●人々に親しまれる美しい河川景観の保全・活用

- 河川沿いに**派手な建築物や工作物**があったり、**ごみ**が散乱していたりすると、河川沿いの景観が荒廃している印象を与える。
- 多様な生物・植物の保全とともに、**ごみ拾いや草刈り**などの必要な手入れによる**河川景観の保全**が必要。
- 河川沿いは散歩などの利用が多いため、水辺と触れ合う**自然護岸整備**等の親水性の向上や、**フットパスと河川ネットワークとの連携**による**河川景観の活用**が必要。



▲大鞘川

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

②歴史・文化的な景観

●多様な歴史的景観の保全・活用

- 文化財に指定されていない町屋や木造建築物などは、価値が十分に認識されておらず、すぐに取り壊されてしまう可能性がある。
- 日奈久温泉街や、山並み景観と一体となった五家荘の集落にも空き家・空地が増え、歴史的景観が徐々に失われつつある。
- 歴史的資源の周辺に空き家・空地があったり、調和しない建築物や工作物が建ったりすると、歴史的な趣が損なわれる。
- 風情ある歴史的景観を先人から受け継がれた財産と捉え、風格のある景観の保全を図るとともに、空き家・空地の有効活用が必要。



▲空き家・空地の例

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

②歴史・文化的な景観

●文化の継承と文化的景観の保全・活用

- 八代神社（妙見宮）南側には、参道から砥崎の河原を結ぶ**神幸行列ルート**があるが、**住宅地**の中を通るため、一見して分かりにくい状況。
- 妙見宮を中心とする地域においては、ユネスコ無形文化遺産登録の機運を盛り上げ、**歴史と文化の趣を感じられる景観づくり**が必要。



▲八代神社（妙見宮）



▲神幸行列ルート（住宅地）



▲砥崎の河原

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

②歴史・文化的な景観

●文化の継承と文化的景観の保全・活用

- 市内に残る生活文化に醸成された**神事・催事などの文化の継承**とともに、**文化的景観の保全・活用**が必要。
- 山間部の**棚田**が作り出す文化的景観の保全を図るためには、農林業振興との連携が不可欠。
- 生業との連携を図るとともに、**樋門群**などと調和した広がりのある**干拓地景観の保全**や、棚田等の文化的景観を保全することが必要。



▲ 縦木神楽



▲ 久連子古代踊り



▲ 干拓地の景観

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

③まちなみ景観

●賑わいとうるおい、落ち着きのある市街地景観の創出

- 県道八代港線（臨港線）沿線には大規模商業施設が集積し、賑わいのある沿道景観がみられる。
- 一方で、**J R八代駅周辺地区**や**本町アーケード商店街**、**日奈久温泉街**には**空き店舗・空地**がみられ、**賑わいが乏しい**状況。
- **空き店舗・空地の改善・活用**を図るとともに、一定のコンセプトに基づく**統一のあるまちなみ景観形成のルール化**が必要。



▲ J R八代駅周辺地区



▲ 本町アーケード商店街の空き店舗



▲ 日奈久温泉街の空地

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

③まちなみ景観

●賑わいとうるおい、落ち着きのある市街地景観の創出

- 本町アーケード商店街の土曜夜市、日奈久地区の路地を活用したまちづくりなど、まちの賑わいを創出する活動を活かした賑わいの景観づくりも必要。
- 市街地から眺望できる工場景観の改善・活用などの取り組みや、新庁舎周辺の八代城跡と一体となった落ち着きと風格のある景観整備が必要。
- 干拓農地に市街地のスプロール化が進行している地区では、周辺の田園景観と調和したまちなみの景観づくりが必要。



▲ 日奈久温泉街の路地

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

③まちなみ景観

●幹線道路や鉄道沿いの良好な沿道景観づくりと「陸の玄関口」の景観づくり

- 国道3号や県道八代港線（臨港線）などの幹線道路の沿道には商業施設が集積し、**派手な色彩の建築物・広告物**が他の地区より多い。
- 景観の骨格を形成する幹線道路の沿道や、鉄道沿線は、派手な建築物や工作物・屋外広告物の**形態や大きさの規制**等による良好な景観づくりが必要。
- 幹線道路の街路樹など、**植栽の適切な維持管理**が必要。

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

③まちなみ景観

●幹線道路や鉄道沿いの良好な沿道景観づくりと「陸の玄関口」の景観づくり

- 田園の中を抜ける幹線道路沿道や鉄道沿線では、周辺の**田園景観と調和した景観づくり**が必要。
- 干拓地の風景や、晩白柚畑や高田みかん畑、球磨川の清流など、**八代ならではの景観を活かすテーマ性をもった景観づくり**が望まれる。
- 九州新幹線の新八代駅周辺やインターチェンジ周辺地区においては、周辺のまちなみや背景となるやまなみ景観と調和した建築物・工作物への景観誘導等による、**「陸の玄関口」に相応しい景観づくり**が必要。



▲ 田園を抜ける幹線道路



▲ 新幹線沿線の菜の花畑



▲ 九州新幹線からの眺望

6.八代市景観計画素案について

(1) 序章

5) 景観の主な問題点と課題

④仕組みづくり

- 本市は自然、歴史・文化、まちなみの景観特性ごとに特徴ある価値を有しており、それらが重なり合って八代固有の貴重な景観を構成。
- 市を取り巻く様々な社会的な影響を視野に入れながら景観の価値を守っていくための仕組みづくりが必要。
- 市民の景観形成意識に対して、更なる啓発のきっかけとなり、市民・事業者・行政の協働による景観形成につなげていくため、新たな景観まちづくりの考え方・方策が強く求められる。

6.八代市景観計画素案について

(2) 本編

1) 八代市景観計画区域の設定 [景観法第8条第2項第1号]

- 八代市の景観構造、既存計画の将来都市構造を基にした市域のゾーニングと照合し、ゾーン区分を設定する。



▲景観計画区域

6.八代市景観計画素案について

(2) 本編

1) 八代市景観計画区域の設定 [景観法第8条第2項第1号]

- 既存計画の将来都市構造を基にした市域のゾーニングと照合し、ゾーン区分を設定する。

▼景観ゾーン・軸のイメージ

景観ゾーン・軸	概要	主な要素
①やまなみ景観ゾーン	市東部の山間部を中心とした地域	山地・丘陵地、山林集落、棚田
②海辺景観ゾーン	市西部の八代海沿岸地域	八代海、干潟、工業地
③まちなか景観ゾーン	中心市街地、用途地域内市街地	中心市街地、戸建住宅地
④田園景観ゾーン	干拓地・田園地を中心とした地域	田園、集落地
⑤河川景観軸	主な河川沿い	河川
⑥道路景観軸	主な幹線道路沿い	幹線道路
⑦鉄道景観軸	主な鉄道沿線沿い	鉄道

6.八代市景観計画素案について

(2) 本編

1) 八代市景観計画区域の設定 [景観法第8条第2項第1号]

